

令和4年度

公共事業評価結果における事業方針書

三 重 県

1	令和4年度公共事業再評価結果	1
	農林水産部の取り組み	
	治山事業の対応方針について	3
	林道事業の対応方針について	5
	県土整備部の取り組み	
	河川事業の対応方針について	8
	海岸事業の対応方針について	10
2	令和4年度公共事業事後評価結果	12
	農林水産部の取り組み	
	農業農村整備事業について	15
	水産基盤整備事業について	16
	県土整備部の取り組み	
	道路事業について	18
	砂防事業について	20
	海岸事業について	22
	街路事業について	24

【資料】

令和4年度 三重県公共事業評価審査対象事業位置図	・ ・ ・ ・ ・	26
(第8号様式) 令和4年度三重県公共事業再評価箇所一覧表	・ ・ ・ ・ ・	46
(第9号様式) 令和4年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表	・ ・ ・ ・ ・	55

1 令和4年度公共事業再評価結果

三重県が実施している公共事業の継続の適否について、本年度は、表-1のとおり9事業について評価を行い、三重県公共事業評価審査委員会の調査審議を受けたところ、9事業すべてにおいて「事業継続を了承する」との答申をいただきました。また、あわせて、4事業について付帯意見をいただきました。

この答申を踏まえ県の対応方針を決定し、「公共事業評価結果における事業方針書」としてとりまとめました。

令和4年度三重県公共事業再評価審査対象事業一覧表（表-1）

（※印：付帯意見あり）

番号	事業名	箇所名	市町名	採択年度	再評価理由	答申	対応方針
1	治山事業	東又谷	大台町	H24	②	継続※	継続
2	林道事業	鶴ガ坂線	度会町	H20	③	継続※	継続
3	河川事業	二級河川 堀切川	鈴鹿市	S63	③	継続	継続
4	河川事業	一級河川 五十鈴川	伊勢市	S24	③	継続	継続
5	河川事業	一級河川 桧尻川	伊勢市	H6	③	継続※	継続
6	河川事業	一級河川 大内山川	大紀町	S54	③	継続	継続
7	河川事業	二級河川 前川	志摩市	H3	③	継続	継続
8	河川事業	一級河川 木津川	伊賀市	S30	③	継続	継続
9	海岸事業	的矢港海岸 (的矢地区)	志摩市	S61	③	継続※	継続

再評価理由：① 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
 ② 事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
 ③ 再評価実施後一定期間が経過している事業
 ④ 社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業

農林水産部の取り組み
(再評価)

治山事業の対応方針について

[農林水産部]

1 再評価審査対象事業

治山事業 1番 ^{ひがしまだに}東又谷

2 委員会意見

令和4年7月15日に開催された第1回三重県公共事業評価審査委員会における審査の結果、1番については「事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。」との答申をいただきました。

また、あわせて、「事業期間内で終わるよう計画的に進めていただきたい。」との意見をいただきました。

3 治山事業の背景

治山事業は、森林の維持・造成を通じて、山地災害から県民の生命、財産等を守る事業です。

三重県は、地形・地質的にも山地に起因する災害が発生しやすい状況にあることから台風や豪雨などによる災害のたびに大きな被害を受けてきました。

特に近年は局地的な集中豪雨が多発する傾向にあり、地域住民の山地災害に関する危機管理意識が高まっています。

東又谷は、平成23年9月の台風12号豪雨により大規模な山腹崩壊が発生し、崩壊土砂が下流の桧原谷川まで流出しました。この崩壊により荒廃した溪流の復旧を目的に、治山事業による整備を進めています。

4 再評価対象事業の対応方針

再評価において事業継続の妥当性が確認されたことから、事業効果の早期発現に向けて事業を継続して実施していきます。

5 事業への対応方針

5-1 事業の課題

当事業現場下流にある人家及び国道 422 号の保全や 1 級河川宮川への土砂流出抑制を図るため治山事業による効果を早期に発現させる必要があります。

5-2 課題の解決方針

今後も年度ごとに優先順位を考慮しながら重点的な予算配分を行い、事業の早期完了を図ります。

林道事業の対応方針について

[農林水産部]

1 再評価審査対象事業

林道事業 2番 ^{つるがさかせん}鶴ガ坂線

2 委員会意見

令和4年7月15日に開催された第1回三重県公共事業評価審査委員会における審査の結果、2番については「事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。」との答申をいただきました。

また、あわせて、「事業効果の十分な発現のために、早期の事業完成に努められたい。」との意見をいただきました。

3 林道事業の背景

木材価格の低迷や労働者の高齢化など林業を取り巻く状況が依然として厳しい中、効率的・安定的な木材生産や適切な森林整備を促進していくためには、その基盤となる林道の整備が不可欠であり、林道事業では、新規林道の開設、既設林道の改良、舗装などに取り組んでいます。

鶴ガ坂線は、度会郡度会町の当津地区と中之郷地区の集落間を連絡する骨格的な林道であり、アクセス条件の改善や機械化の促進などによる森林施業の効率化や木材の輸送効率の向上を図ることで、利用区域内の森林資源の有効利用や森林整備を促進することを目的に、整備を進めています。

4 再評価対象事業の対応方針

再評価において事業継続の妥当性が確認されたことから、事業効果の早期発現に向けて事業を継続して実施していきます。

5 事業への対応方針

5-1 事業の課題

森林資源の有効活用や森林整備の促進による公益的機能の発揮など、林道整備による事業効果の十分な発現のために、事業の早期完成を図る必要があります。

5-2 課題の解決方針

今後詳細な測量設計を実施していく中で、経済的な線形や工法について検討するなど、コスト縮減に努めるとともに、事業予算の重点的な配分により、早期完成をめざして事業を進めます。

県土整備部の取り組み
(再評価)

河川事業の対応方針について

[県土整備部]

1 再評価審査対象事業

河川事業	8番	一級河川	<small>きづがわ</small> 木津川
河川事業	4番	一級河川	<small>いすずがわ</small> 五十鈴川
河川事業	5番	一級河川	<small>ひのきじりがわ</small> 桧尻川
河川事業	6番	一級河川	<small>おおうちやまがわ</small> 大内山川
河川事業	3番	二級河川	<small>ほりきりがわ</small> 堀切川
河川事業	7番	二級河川	<small>まえがわ</small> 前川

2 委員会意見

令和4年8月19日に開催された第2回三重県公共事業評価審査委員会および令和4年9月9日に開催された第3回三重県公共事業評価審査委員会における審査の結果、8番、4番、5番、6番、3番、7番については「事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。」との答申をいただきました。

また、5番については、「工法変更があった箇所については、伊勢という土地柄を考慮して、関係機関と協議しながら、より一層の景観の配慮に努められたい。」との意見をいただきました。

3 河川事業の背景

三重県は日本でも有数の多雨地域であり、近年では平成23年の紀伊半島大水害や平成29年の台風第21号及び令和元年の北勢豪雨などにより、県内各地で浸水被害が発生しているほか、全国的にも気候変動の影響により激甚化・頻発化する気象災害により甚大な被害が発生している状況です。

しなしながら、三重県が管理する河川のうち、要改修区間に対する河川整備率は令和3年度末時点で約40%と低く、河川整備の更なる推進が望まれています。

4 再評価対象事業の対応方針

審査の結果、事業継続の妥当性が確認されたことから、浸水被害軽減を目指して引き続き実施していきます。

5 事業への対応方針

5-1 事業の課題

河川整備においては治水や利水だけでなく、その河川の特長や地域の特長に応じた環境に配慮して事業を進めていますが、5番の1級河川桧尻川の河川事業においては、伊勢という土地柄や周辺立地の状況から、特に景観への配慮が求められます。

5-2 課題の解決方針

桧尻川の整備にあたっては、景観行政団体である地元伊勢市と協議しながら、周囲の景観と馴染む材料の選定を行う等、より一層の景観に配慮した整備を進めていきます。

海岸事業の対応方針について

[県土整備部]

1 再評価審査対象事業

海岸事業 9番 まとやこうかいがん 的矢港海岸 (まとやちく 的矢地区)

2 委員会意見

令和4年9月9日に開催された令和4年度第3回三重県公共事業評価審査委員会における審査の結果、9番については「事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。」との答申をいただきました。

また、あわせて、「事業期間が長期にわたることから事業期間の短縮を図り事業の早期完成に努められたい。」との意見をいただきました。

3 海岸事業の背景

三重県では、高潮、地震、津波による災害から、県民の生命と財産を守るため、高潮災害防止のための海岸堤防の整備や、地震・津波対策としての堤防耐震化、粘り強い構造とする施設整備、計画的な老朽化対策に取り組んでいます。

的矢港海岸（的矢地区）は、老朽化による損傷が著しいことから、高潮や高波等により護岸が破堤し、背後の人家密集地域が浸水被害を受ける恐れがあります。

このため、高潮や高波等による浸水被害から背後地の生命・財産を守ることを目的として、護岸の補強及び陸間の改良を実施しています。

4 再評価対象事業の対応方針

審査の結果、事業継続の妥当性が確認されたことから、整備効果の早期発現に向けて引き続き実施していきます。

5 事業への対応方針

5-1 事業の課題

的矢港海岸（的矢地区）海岸事業については、昭和61年度から着手しており、事業期間が長期になっていることが課題です。

5-2 課題の解決方針

事業期間の短縮に向けて、引き続き、工種ごとの大ロット化による効率的な施工を実施することでコスト縮減を図るとともに、補正予算の活用等により必要な予算確保に努めることで、早期完成を目指します。また、事業期間が長期にわたることから、整備完了区間について、長寿命化計画に基づき、定期的な巡視・点検を実施し、適切な維持管理を行います。

2 令和4年度公共事業事後評価結果

三重県が実施した公共事業の効果について、本年度は、表-2のとおり10事業について評価を行い、三重県公共事業評価審査委員会の調査審議を受けたところ、10事業すべてにおいて「評価結果の妥当性を認める」との答申をいただきました。また、あわせて、2事業について付帯意見をいただきました。

この答申を踏まえ県の対応方針を決定し、「公共事業評価結果における事業方針書」としてとりまとめました。

令和4年度三重県公共事業事後評価審査対象事業一覧表（表-2）

（※印：付帯意見あり）

番号	事業名	箇所名	市町名	採択年度	完了年度	答申	事業方針
501	農業農村整備事業	中南勢・中南勢2期 (ビーフロード)	松阪市、多気町 明和町、大台町	H11	H28	了承	各部の 取組の とおり
502	水産基盤整備事業	桃取地区	鳥羽市	H20	H28	了承	各部の 取組の とおり
503	道路事業	国道477号 西浦 バイパス	四日市市	H18	H29	了承	各部の 取組の とおり
504	道路事業	国道167号 鶺方 磯部バイパス	志摩市	S61	H29	了承	各部の 取組の とおり
505	砂防事業	松ヶ久保川	津市	H21	H29	了承	各部の 取組の とおり

番号	事業名	箇所名	市町名	採択 年度	完了 年度	答申	事業 方針
506	砂防事業	松の木谷川	津市	H21	H29	了承※	各部の 取組の とおり
507	砂防事業	奥西谷	熊野市	H21	H29	了承	各部の 取組の とおり
508	海岸事業	長島地区海岸	桑名市	H19	H29	了承	各部の 取組の とおり
509	海岸事業	磯津地区海岸	四日市市	H16	H29	了承	各部の 取組の とおり
510	街路事業	近鉄名古屋線 川原町駅付近 (連続立体交差)	四日市市	H18	H29	了承※	各部の 取組の とおり

事後評価理由：事業完了後おおむね5年が経過した事業

農林水産部の取り組み
(事後評価)

農業農村整備事業について

[農林水産部]

1 事後評価審査対象事業

農業農村整備事業 501番 中南勢・中南勢^{ちゅうなんせい}2期^{ちゅうなんせい}（ビーフロード）

2 委員会意見

令和4年12月20日に開催された第5回三重県公共事業評価審査委員会における審査の結果、501番については「事業の効果については評価結果の妥当性を認める。」との答申をいただきました。

3 農業農村整備事業（広域農道整備事業）の背景

広域農道整備事業は、基幹的な農道を整備することによって、農業の近代化又は農業生産物の円滑な流通を図ることを目的としています。

中南勢・中南勢2期地区においては、米、野菜、果樹、畜産など多様な農業生産団地が分布しています。しかしながら、生産団地から出荷所等へ向かう道路網が未整備であることから、農産物流通と農業生産活動の活性化を目的に道路整備を進め、平成28年度に完了しています。

4 事業への対応方針

4-1 事業の課題

アンケート調査結果により、本農道が整備されたことによる交通事故の発生を危惧した交通安全施設等の設置や、道路沿いの草や枝の伐採など道路維持管理に関する意見がありました。

4-2 課題の解決方針

今後も道路管理者である市町に対して、基幹的な農道としての効果が十分に発揮されるよう関係する事業制度の情報提供を行うなど必要な対応に努めてまいります。

水産基盤整備事業について

[農林水産部]

1 事後評価審査対象事業

水産基盤整備事業 502番 ^{ももとり}桃取地区

2 委員会意見

令和4年12月20日に開催された第5回三重県公共事業評価審査委員会における審査の結果、「事業の効果については評価結果の妥当性を認める」との答申をいただきました。

3 水産基盤整備事業の背景

水産基盤整備事業は、水産資源の持続的利用と国民のニーズに的確に対応した水産物の安定供給及び水産資源の生息環境の保全・創造を目的としており、なかでも漁港関連道の整備は水産物の輸送に重要な役割を果たしています。

本地区においては、計画策定当時、島を東西に横断する現道は道幅が狭いうえカーブが多く、水産物の輸送に多くの時間やコストがかかっており、水産物を効率的に輸送できる道路の整備が求められていたところでした。

このことから、流通・輸送面でのコストを低減し、地域水産業の安定と活性化を目的に、その基幹となる道路を整備したものです。

4 事業への対応方針

4-1 事業の課題

関連道における除草や清掃等の維持管理が負担となっている。

4-2 課題の解決方針

今後、事業計画を策定する際には、事業完了後の維持管理が軽減される工法の検討を行うとともに、事業完了後の道路管理者である市町と連携して策定に取り組んでいきます。

県土整備部の取り組み
(事後評価)

道路事業について

[県土整備部]

1 事後評価審査対象事業

道路事業 503番 国道477号 ^{にしうら}西浦バイパス
 504番 国道167号 ^{うがたいそべ}鵜方磯部バイパス

2 委員会意見

令和4年12月20日に開催された第5回三重県公共事業評価審査委員会における審査の結果、503番、504番については「事業の効果については評価結果の妥当性を認める。」との答申をいただきました。

3 道路事業の背景

県管理道路については、高速道路や国が管理する国道を補完し、地域間交流を促進する幹線道路ネットワークの拡充、災害時の救助活動や物資輸送を担う緊急輸送道路の整備および観光復興を支えるアクセス道路の整備を進めるとともに、身近な生活道路において車両のすれ違いが困難な箇所の解消などの整備を進めています。

4 事業への対応方針

4-1 事業の課題

503番について

アンケート調査結果により、多くの回答者から河川外にルートが変更され、大雨時などに安全に通行できるようになったなど、好評をいただいた一方で、アンダーパスを自動車を通る際に大きい音がするなどの意見をいただきました。

504番について

アンケート調査結果により、多くの回答者から車道が広くなり自動車などの運転がしやすくなったり、走行時間が短縮したなど、好評をいただいた一方で、土橋交差点において、交通渋滞が発生しているなどの意見をいただきました。

4-2 課題の解決方針

503番について

アンダーパスの騒音は、グレーチング蓋のがたつきが原因であったため、蓋を固定するボルトを締め直し、騒音を抑制する対策を行いました。今後も日々のパトロール業務の中で蓋の状況を確認するなど、適切に維持管理を行い、騒音防止に努めていきます。

504番について

土橋交差点においては、伊勢・鳥羽方面から志摩市街方面への右折車両が多く、1回の青信号で右折できずに残った車両が右折レーンを超え直進車両の通行を阻害して、交通渋滞が発生していました。これを解消するために、右折レーンを伸ばす対策工事を実施しました。今後は、対策の効果を確認し、交通渋滞が解消しない場合は、右折矢印信号の青時間の延長について交通管理者と協議していきます。

砂防事業について

[県土整備部]

1 事後評価審査対象事業

砂防事業	505番	<small>まつがくぼがわ</small> 松ヶ久保川
	506番	<small>まつのきたにかわ</small> 松の木谷川
	507番	<small>おくにしたに</small> 奥西谷

2 委員会意見

令和4年10月18日に開催された第4回三重県公共事業評価審査委員会における審査の結果、505番、506番、507番については「事業の効果については評価結果の妥当性を認める。」との答申をいただきました。

また、あわせて、506番については、「本事業の効果について、地域住民に十分理解されるよう努められたい。」との意見をいただきました。

3 砂防事業の背景

砂防事業は、斜面が崩れ溪流に堆積した土砂が、大雨時に川の水とともに一気に流れ出す土石流から人家や公共施設等を保全することを目的とし、砂防設備を整備する事業です。

松ヶ久保川、松の木谷川、奥西谷は土砂災害警戒区域等に指定されており、被害想定区域内には人家や道路等があります。当溪流は荒廃が著しく、降雨等により土石流が発生した場合に人家や公共施設に甚大な被害を及ぼす恐れがあることから、土砂災害を未然に防止するため、砂防堰堤を整備しました。

4 事業への対応方針

4-1 事業の課題

松の木谷川砂防堰堤の地域住民へのアンケートにより、堰堤が整備されたにもかかわらず、4割以上の方が安心して暮らせるようになったとは思っていないという事が判明しました。

4-2 課題の解決方針

- ・ 地域住民に向け、砂防堰堤の整備が土砂災害を未然に防止した効果事例の情報発信を行い、本事業の施設効果を理解していただけるように努めていきます。
- ・ 安心安全につなげるためには実効性のある警戒避難体制の確立が重要であるため、体制整備の主体である市を支援するなど、ソフト対策も進めていきます。

海岸事業の対応方針について

[県土整備部]

1 事後評価審査対象事業

海岸事業 508番 ながしまちくかいがん 長島地区海岸
509番 いそづちくかいがん 磯津地区海岸

2 委員会意見

令和4年9月9日に開催された令和4年度第3回三重県公共事業評価審査委員会における審査の結果、508番、509番については「事業の効果については評価結果の妥当性を認める。」との答申をいただきました。

3 海岸事業の背景

三重県では、高潮、地震、津波による災害から、県民の生命と財産を守るため、高潮災害防止のための海岸堤防の整備や、地震・津波対策としての堤防耐震化、粘り強い構造とする施設整備、計画的な老朽化対策に取り組んでいます。

長島地区海岸は、地震による堤防の崩壊・沈下を防ぎ、その後の津波・高波・高潮から背後地の生命・財産を守ることを目的として、堤防の耐震補強や波返しの整備を実施しました。

磯津地区海岸は、高潮や高波等から背後地の生命・財産を守ることを目的として、堤防の補強による老朽化対策、地盤改良による地震対策及び離岸堤の整備と養浜による侵食対策を実施しました。

4 事業への対応方針

4-1 事業の課題

長島地区海岸と磯津地区海岸において、地域住民等を対象にアンケート調査を行ったところ、整備した施設の維持管理を求める意見や施設整備によって安心感が増したといった意見をいただきました。

4-2 課題の解決方針

施設の整備効果が十分に発揮されるよう、長寿命化計画に基づき、定期的な巡視・点検を実施し、適切な維持管理を行います。

街路事業について

[県土整備部]

1 事後評価審査対象事業

街路事業 510番 きんてつなごやせんかわらまちえきふきん 近鉄名古屋線川原町駅付近 れんぞくりったいこうさ (連続立体交差)

2 委員会意見

令和4年12月20日に開催された第5回三重県公共事業評価審査委員会における審査の結果、510番については「事業の効果については評価結果の妥当性を認める。」との答申をいただきました。

また、「新たに発生した川原町駅付近の交通不安などの課題について、地元自治体、関係機関等と協議を行い解決に努められたい。」との意見をいただきました。

3 街路事業の背景

街路事業は、都市における円滑な交通機能の確保及び公共空間を備えた良好な市街地の形成を図ることにより、安全で円滑な都市生活と機能的な都市活動に寄与することを目的とし、市街地の都市計画決定された道路を整備する事業です。

近鉄名古屋線川原町駅付近の連続立体交差事業は、鉄道高架化による一体的なまちづくりと踏切除去と道路拡幅による安全で円滑な交通の確保に向け整備を進め、令和2年度に完了しています。

4 事業への対応方針

4-1 事業の課題

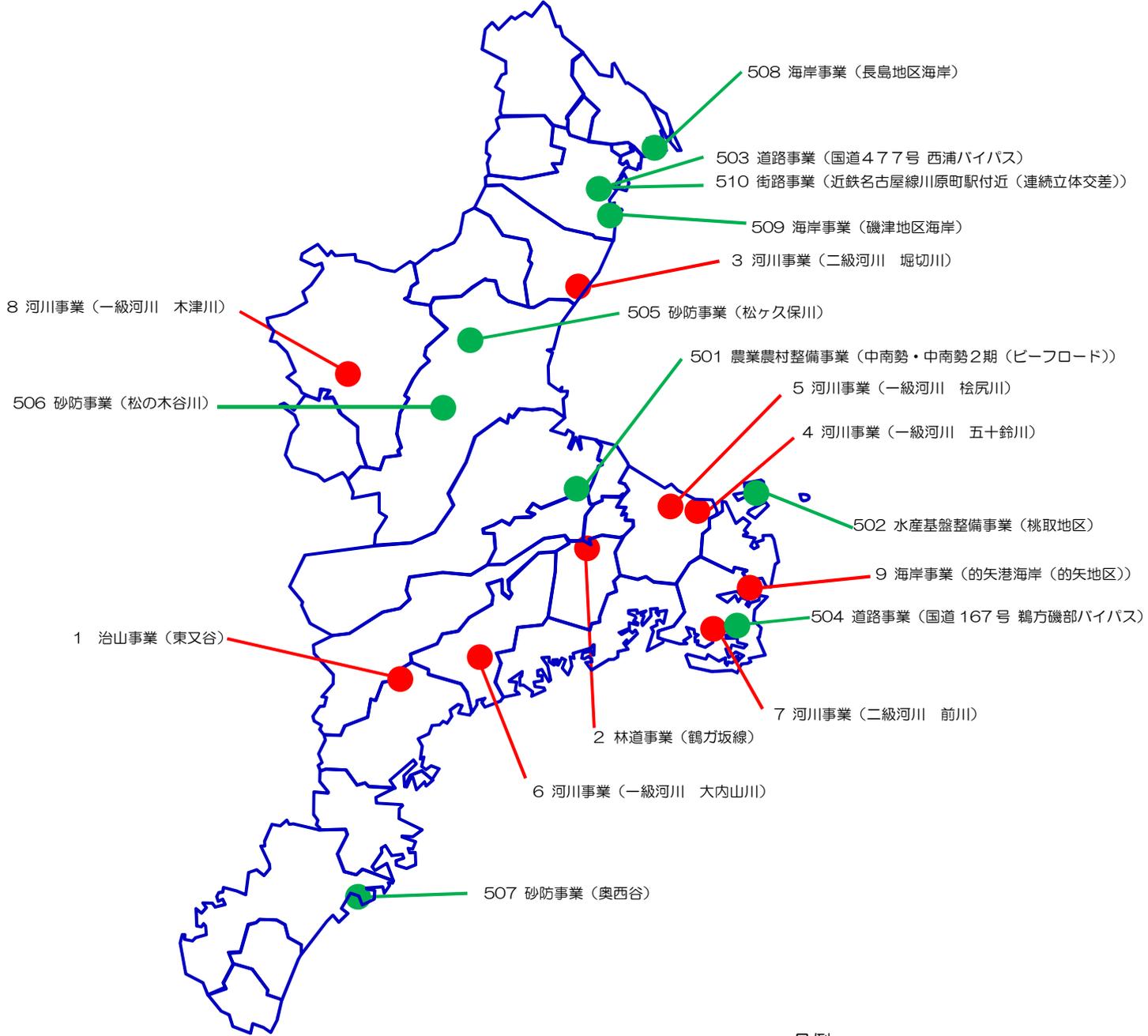
整備後新たに発生した近鉄名古屋線川原町駅付近の交通不安に対しては、行政と地域住民等が一体となり、解決に向け取り組んでいく必要があります。

4-2 課題の解決方針

(都)川原町駅前線の整備後に交通量が増え、車のスピードが速くなったことによる道路横断者への配慮については、当該市道が通過交通は比較的少ないものの周辺住民の利用する生活道路でもあることから、所管する四日市南警察署に速度取り締まり強化の要望を道路管理者である四日市市とともに行いました。

また、新たに整備された駅前ロータリーを利用せずに当該市道路肩に路上駐車により送迎している車が多く、歩行者が見えづらくて危ないとの課題については、改めて現地調査を行ったところ、駐停車が禁止されている横断歩道部周辺に一定数見受けられることを確認しました。このことから所管する四日市南警察署に協議を行ったところ、以前より所管する駐在所により注意喚起を行っているとの情報を得ましたので、引き続き注意喚起及び取り締まりの継続を道路管理者である四日市市とともに要望しました。

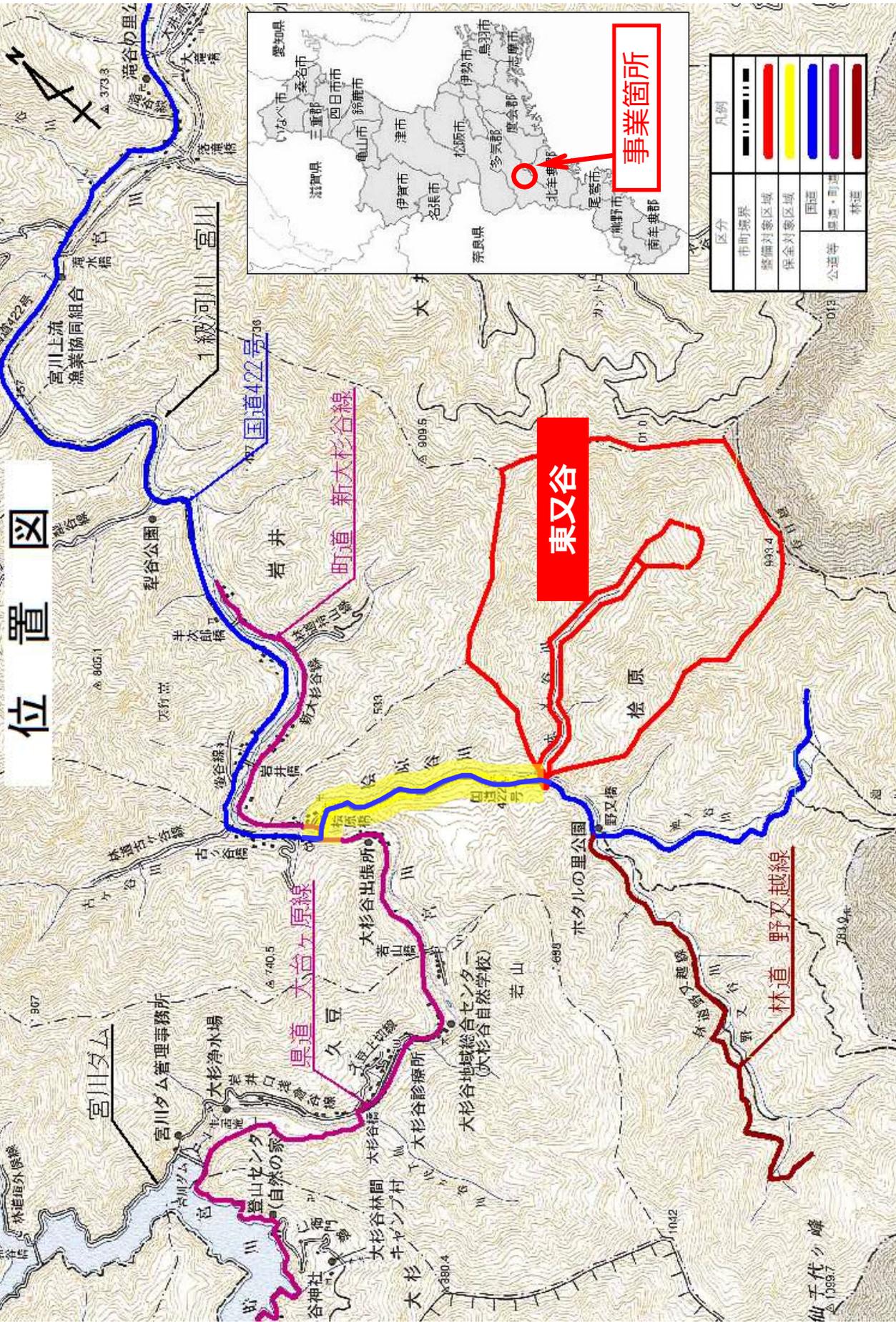
令和4年度 三重県公共事業評価審査対象事業位置図



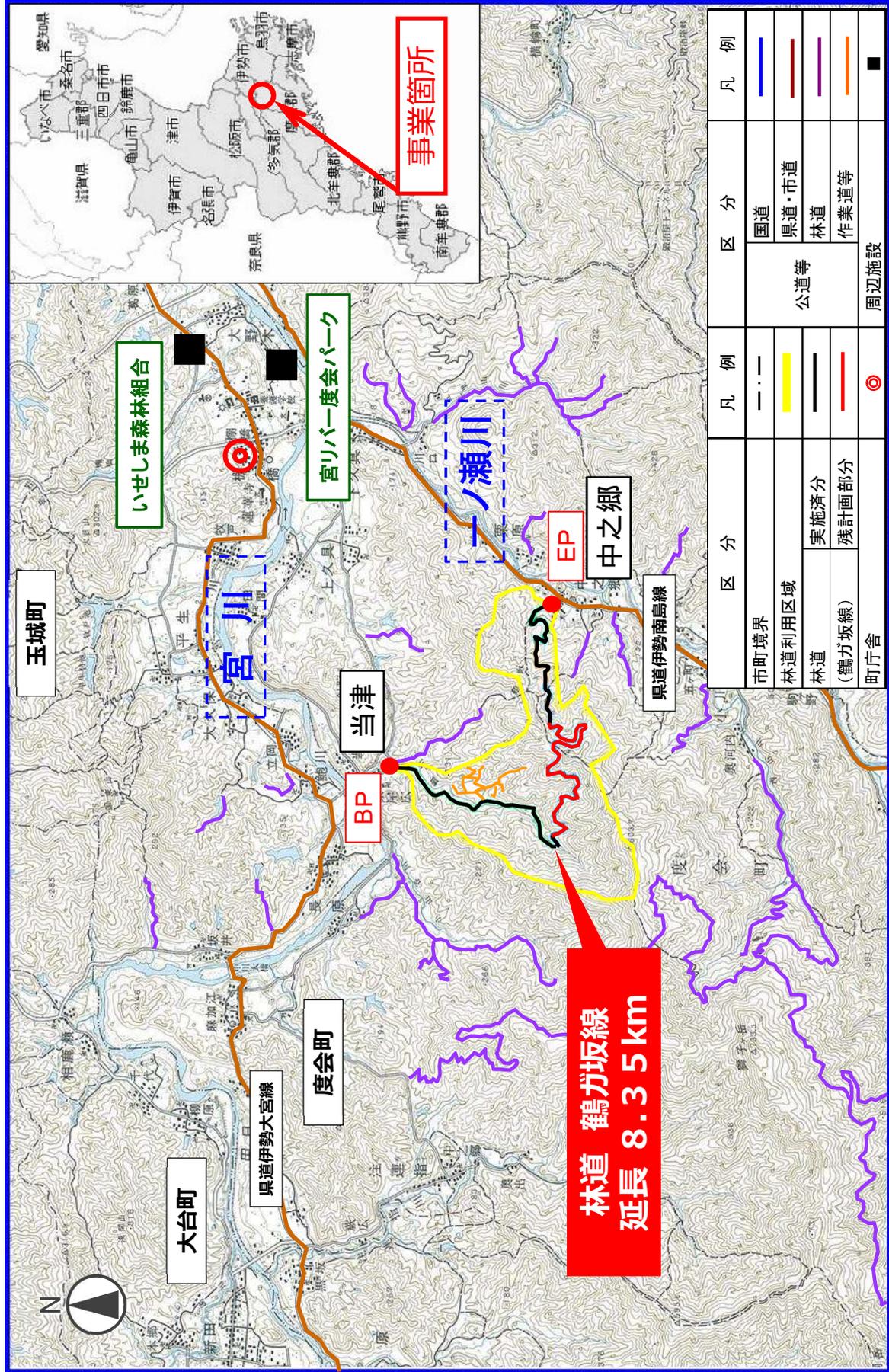
凡例

●	再評価実施箇所
●	事後評価実施箇所

1番 治山事業 東又谷

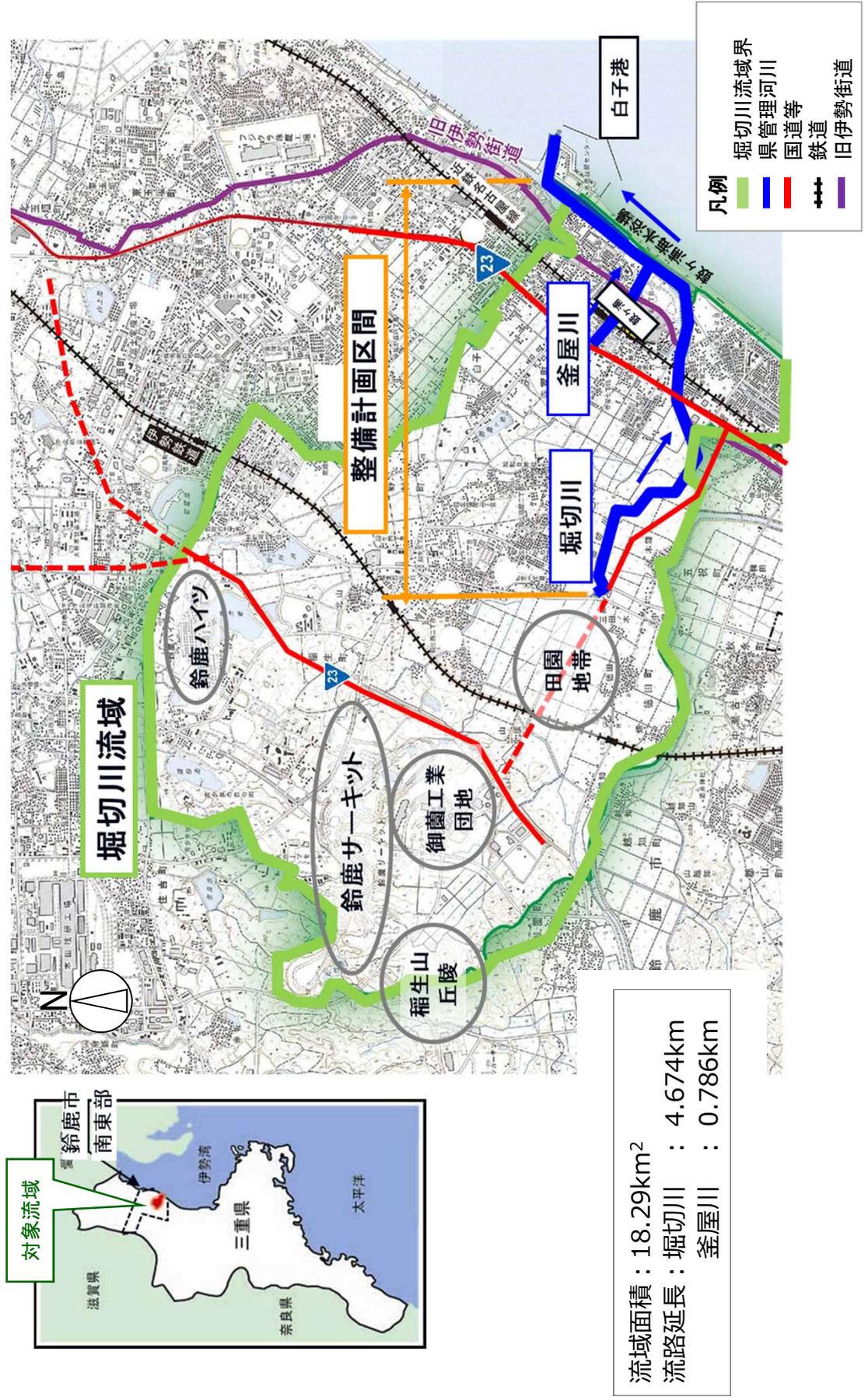


2番 林道事業 鶴ガ坂線

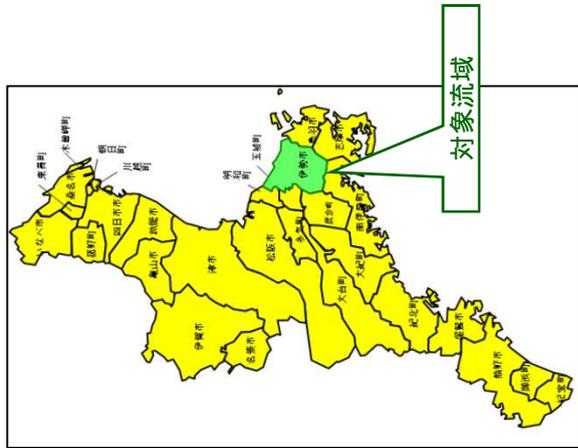


※地理院地図(国土地理院)を加工して作成

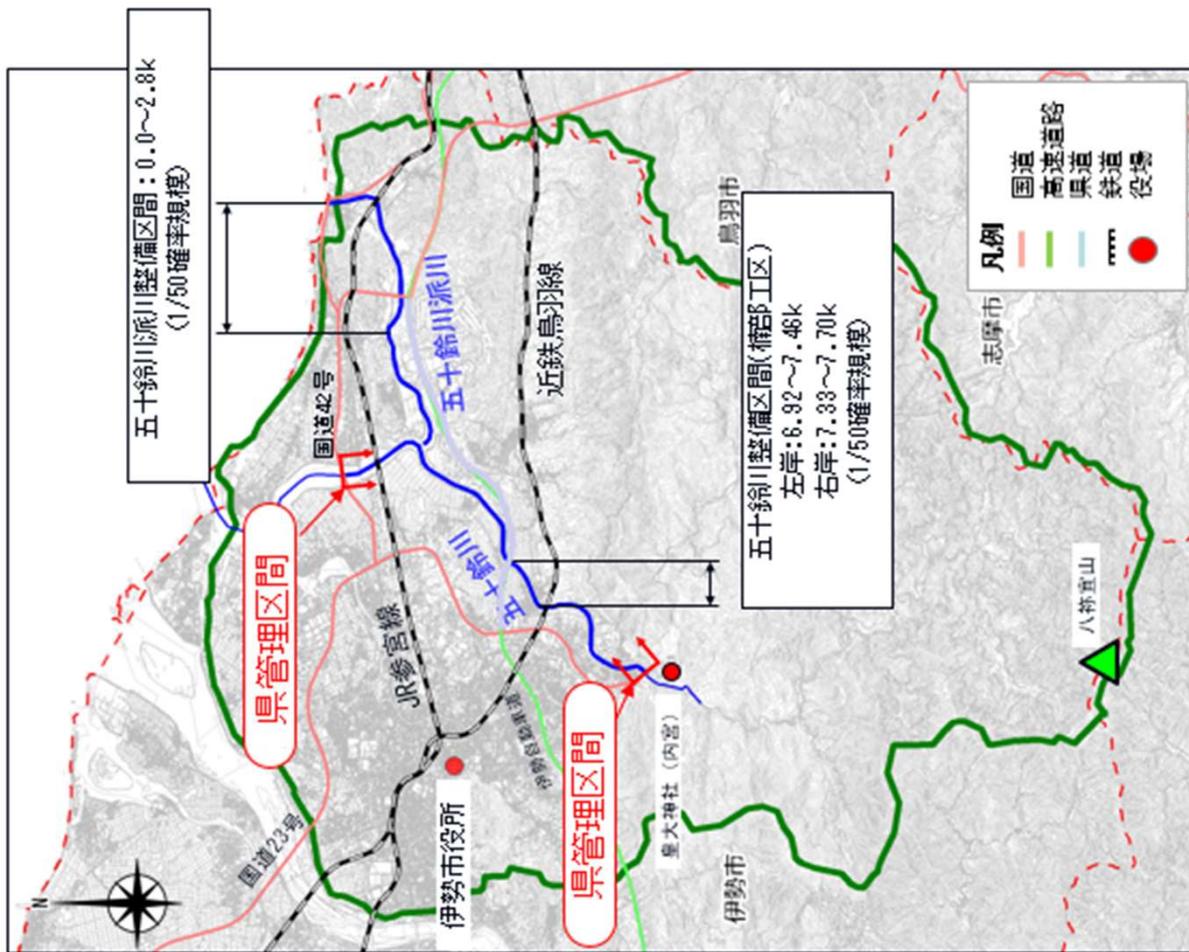
3番 河川事業 二級河川 堀切川



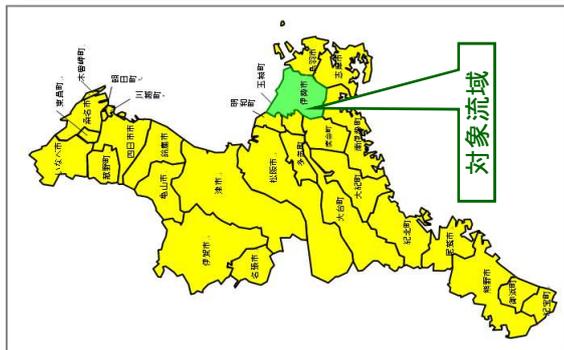
4番 河川事業 一級河川 五十鈴川



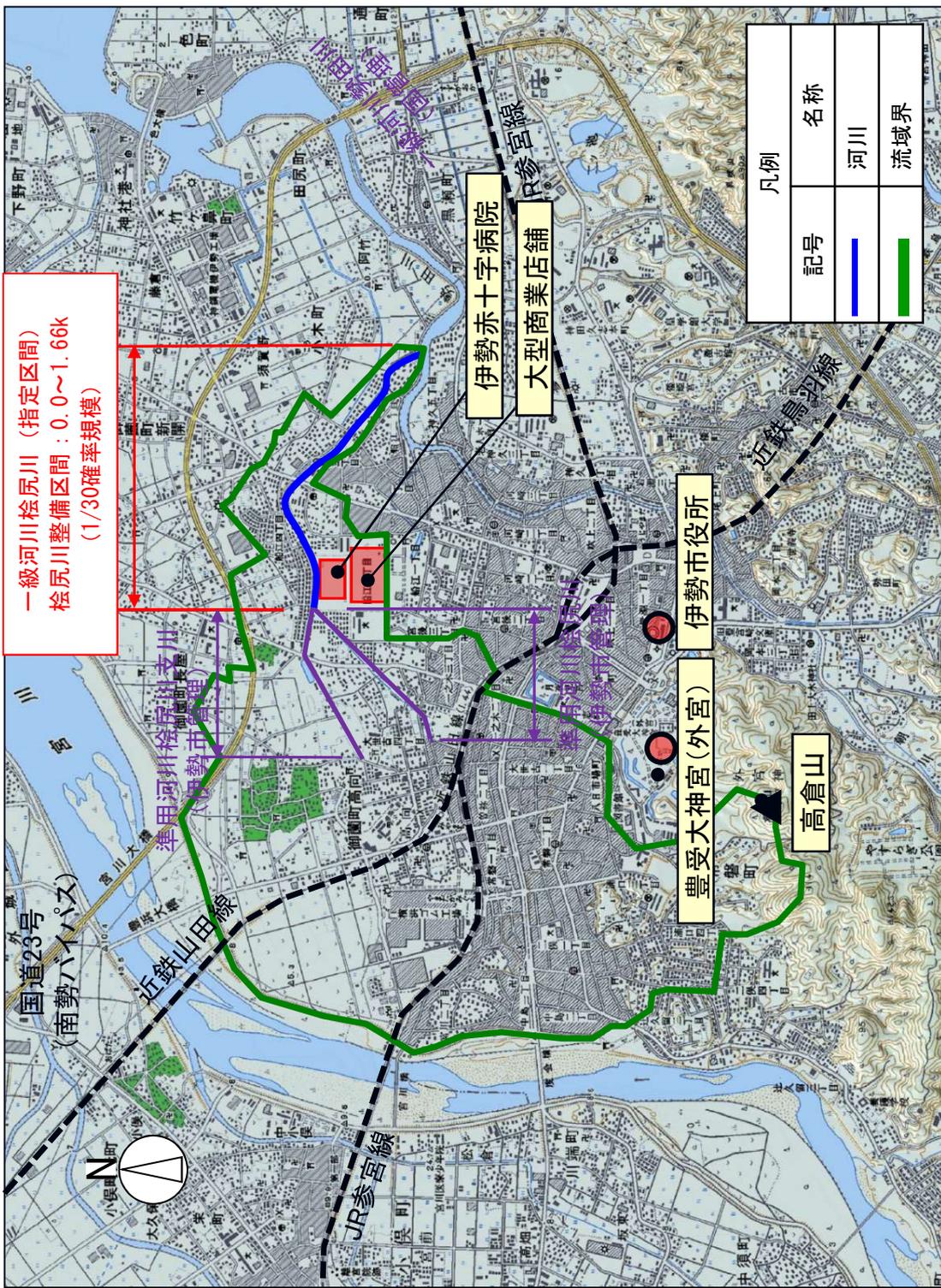
流域面積 : 73.3km²
 流路延長 : 五十鈴川 : 7.0km
 五十鈴川派川 : 4.5km



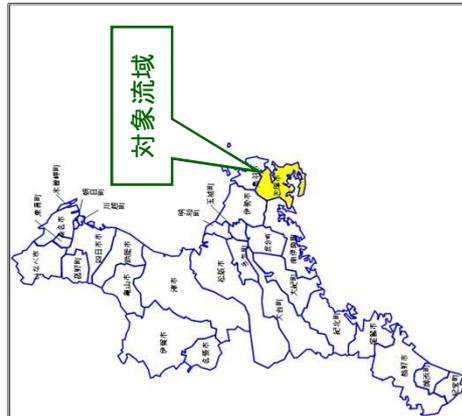
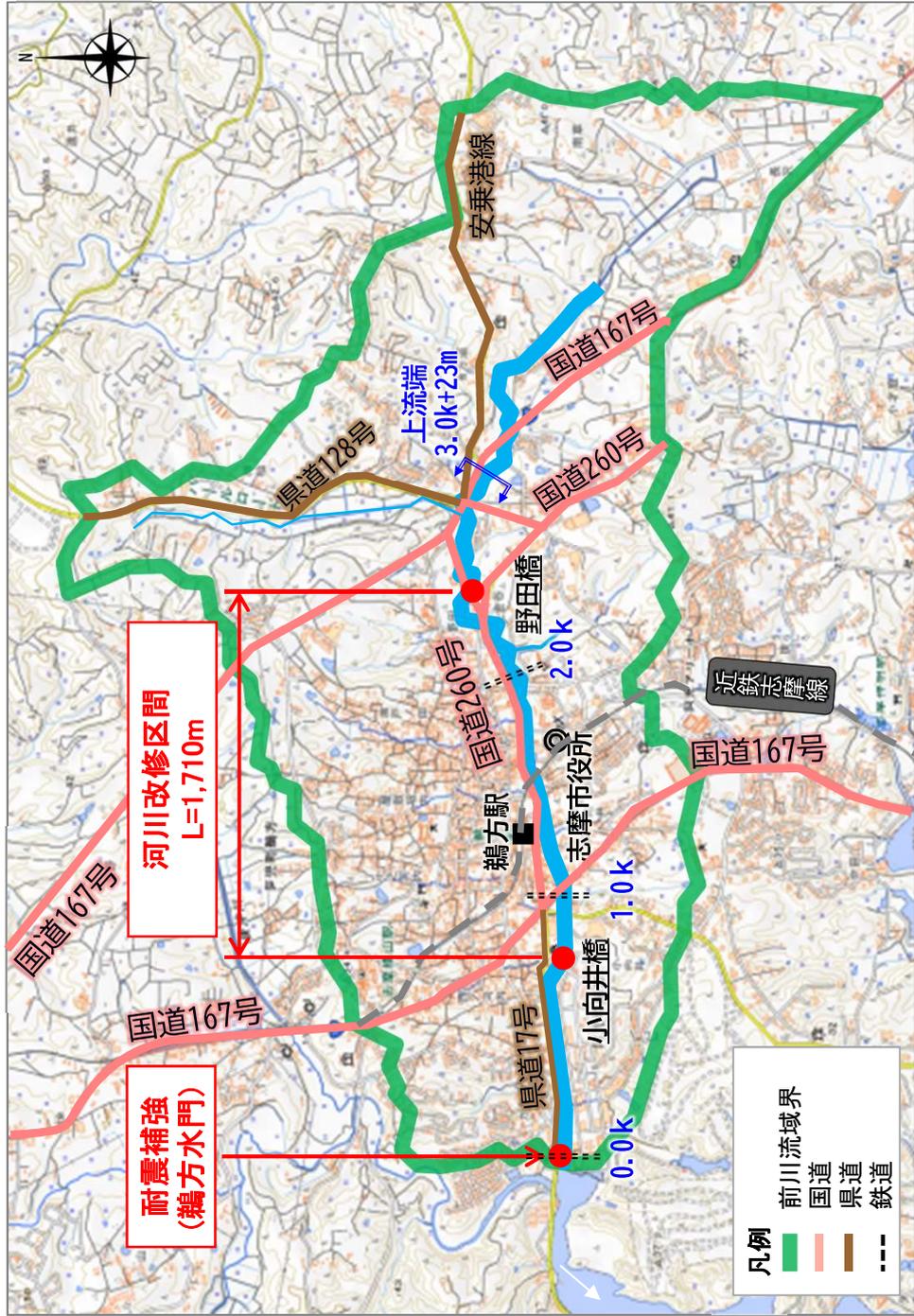
5番 河川事業 一級河川 桧尻川



流域面積: 3.1km²
 流路延長: 1.66km

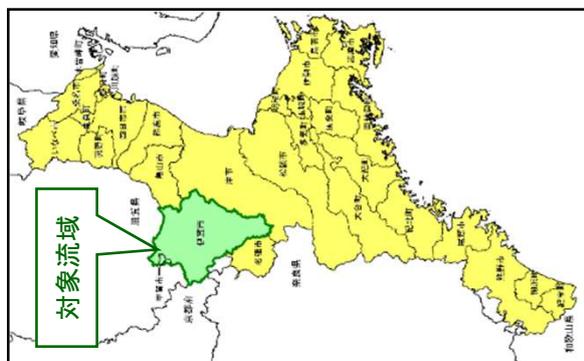


7番 河川事業 二級河川 前川

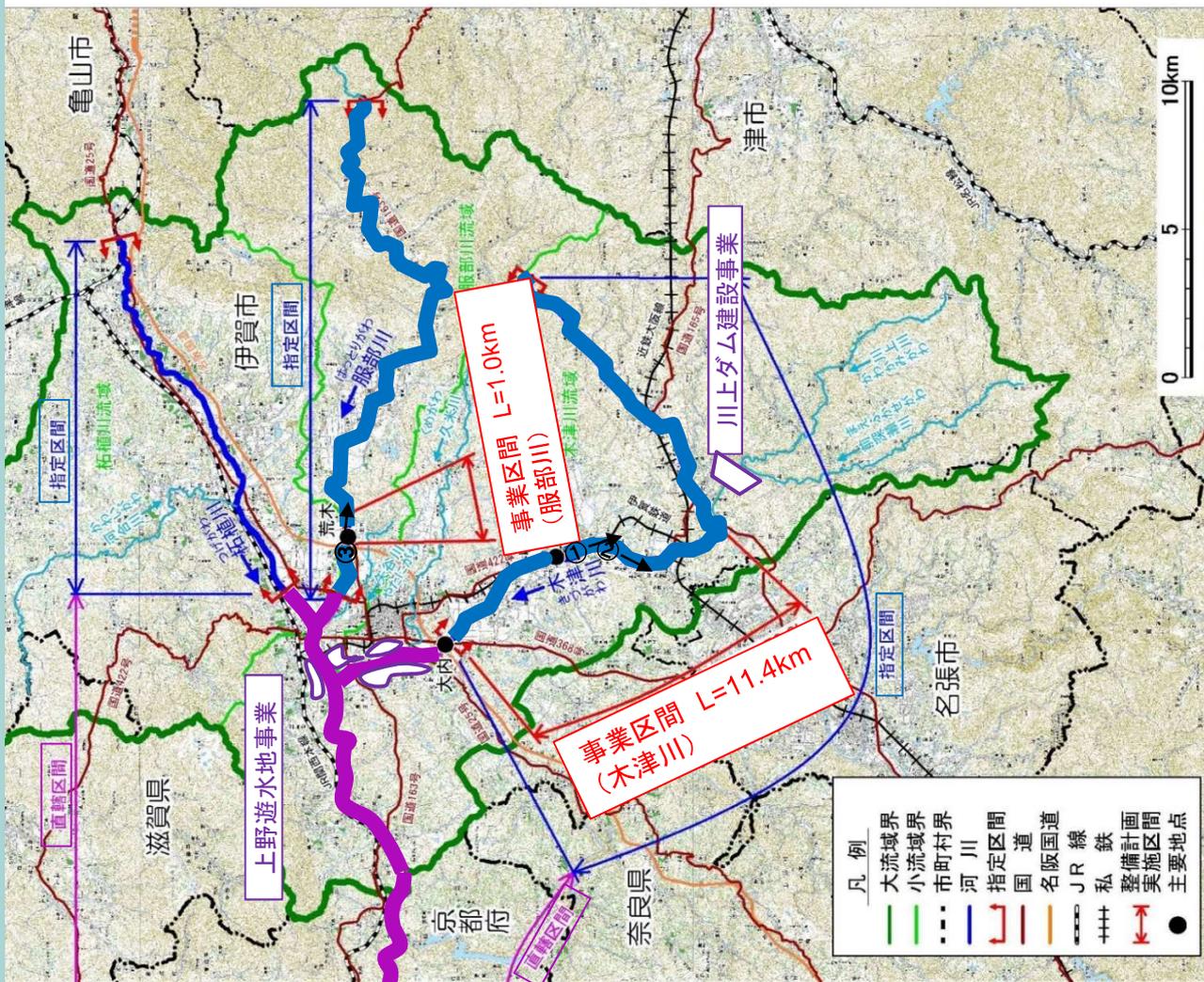


流路延長: 3.023km
流域面積: 6.53km²

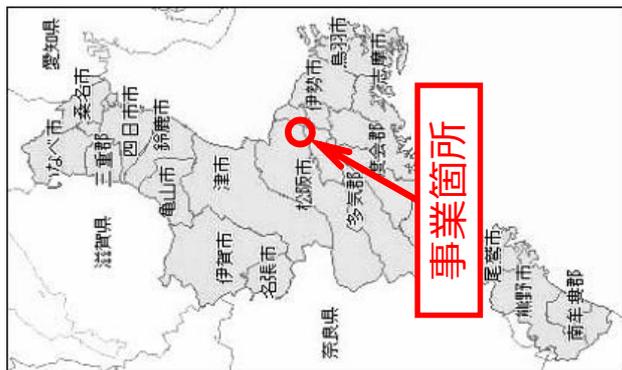
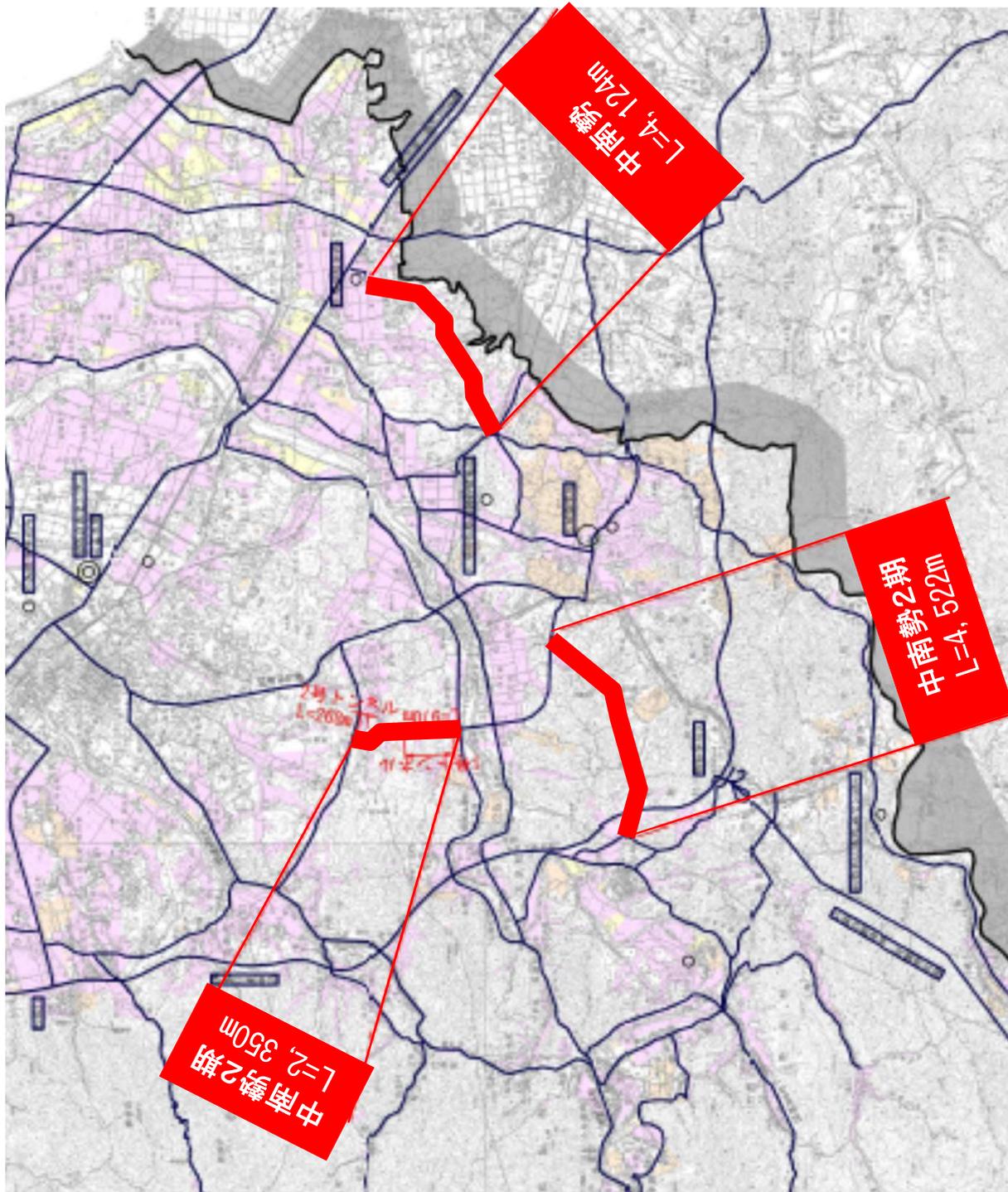
8番 河川事業 一級河川 木津川



流域	流域面積 (km ²)	泉管理区間延長 (km)
木津川	176.3	24.2
服部川	104.0	22.3



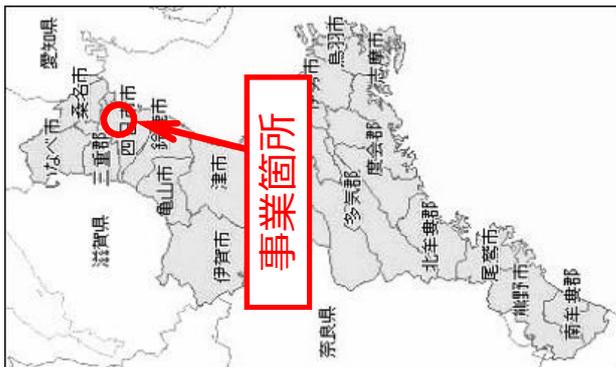
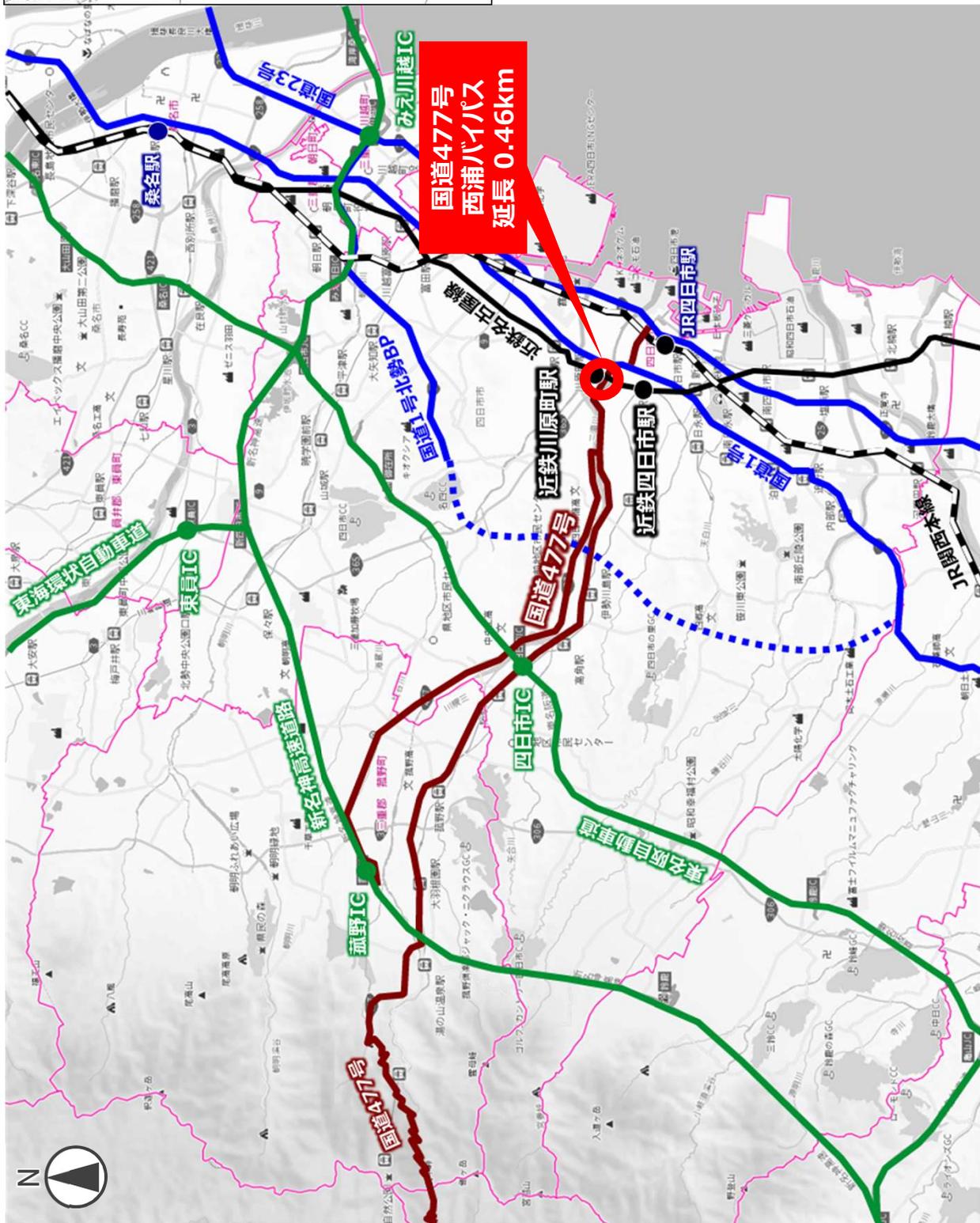
501番 農業農村整備事業 中南勢2期(ビーロード)



502番 水産基盤整備事業 桃取地区 桃取地区



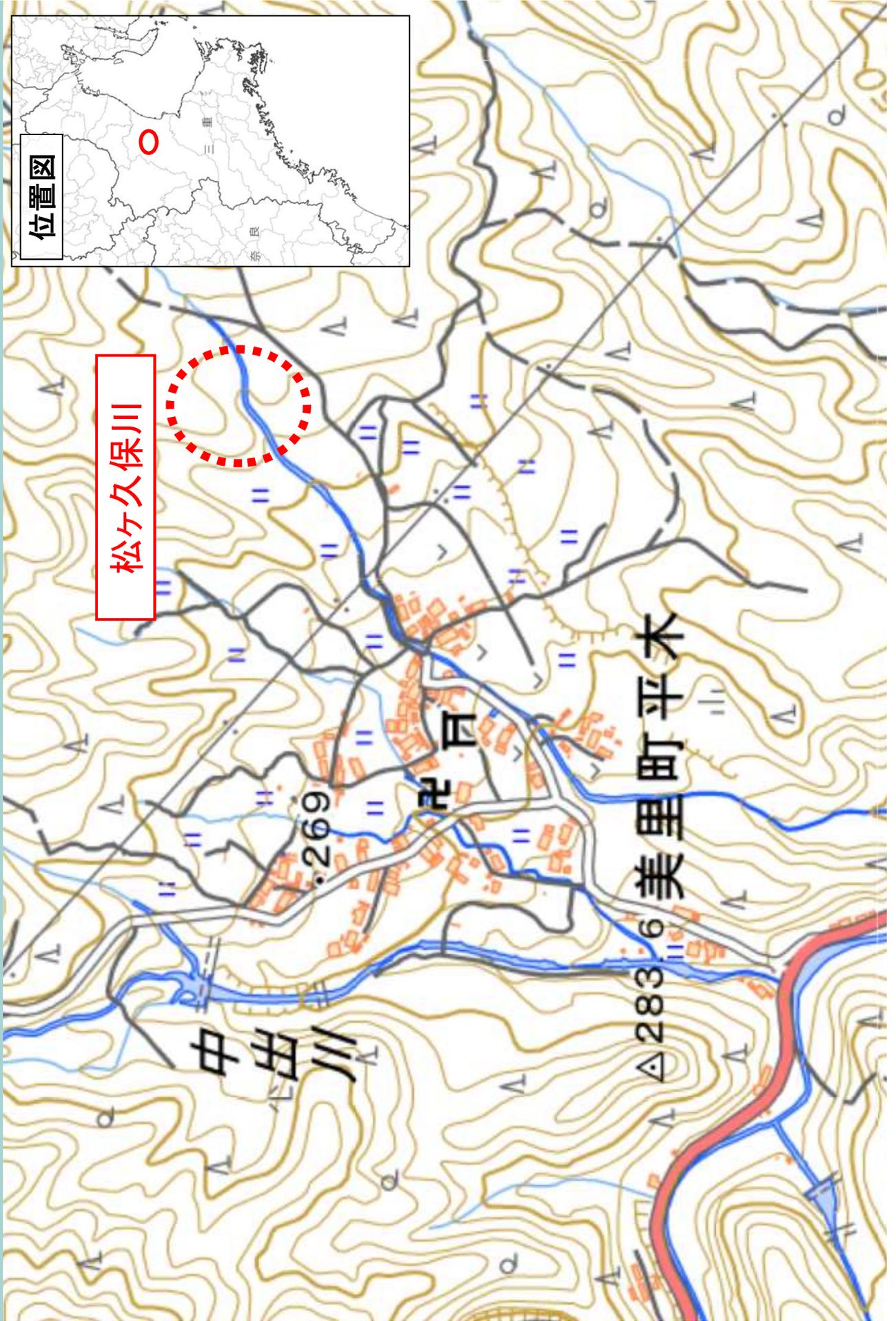
503番 道路事業 国道477号 西浦バイパス



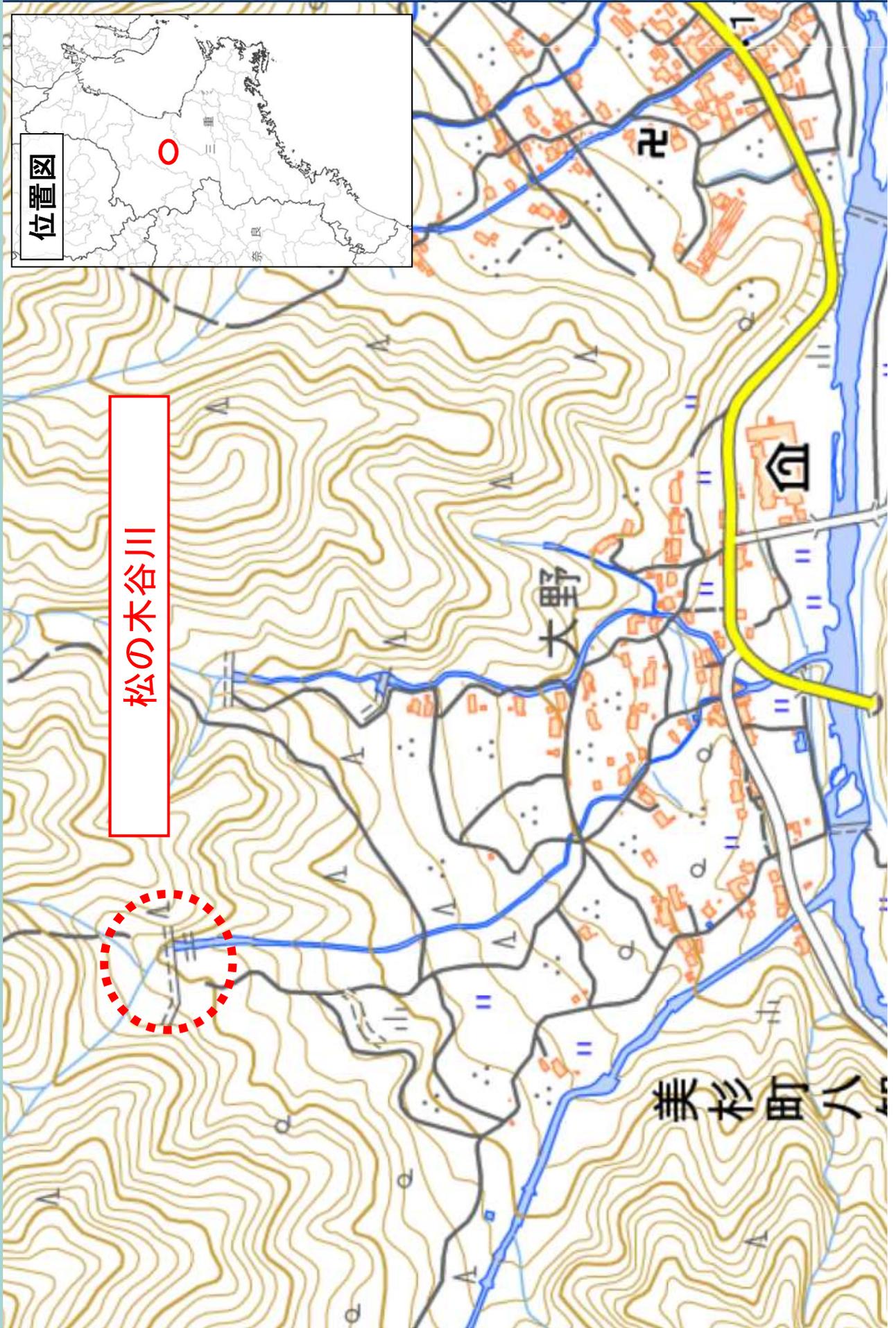
504番 道路事業 国道167号 鵜方磯部バイパス



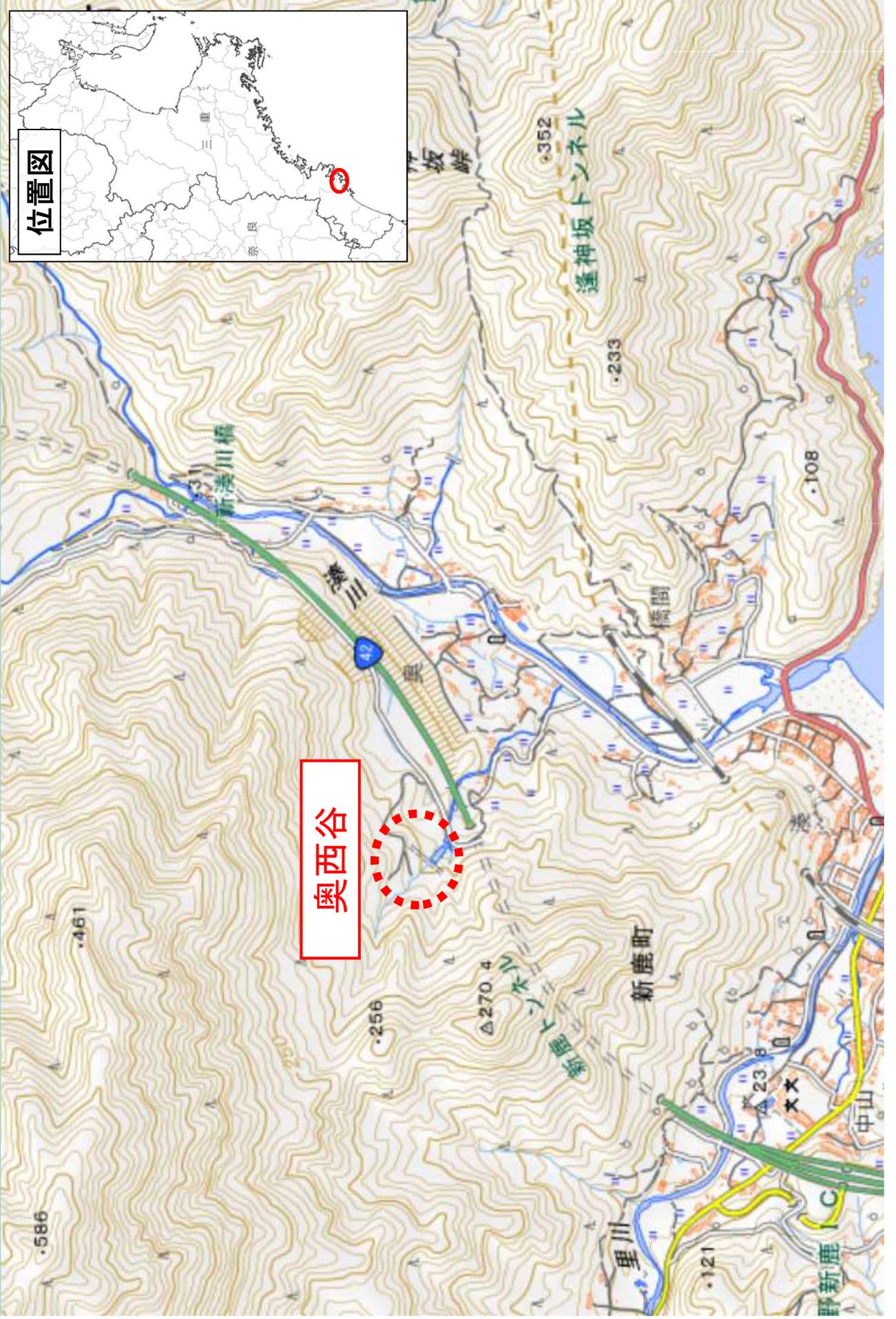
505番 砂防事業 松ヶ久保川



506番 砂防事業 松の木谷川



507番 砂防事業 奥西谷



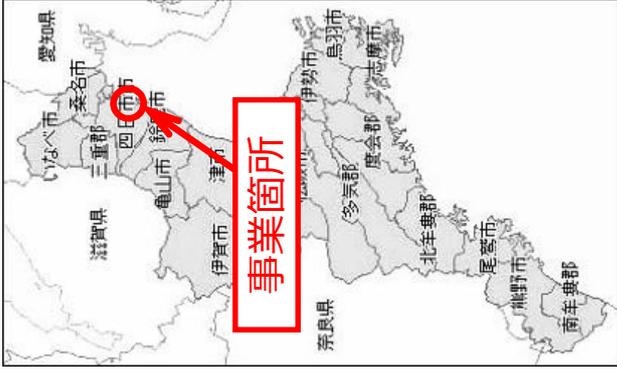
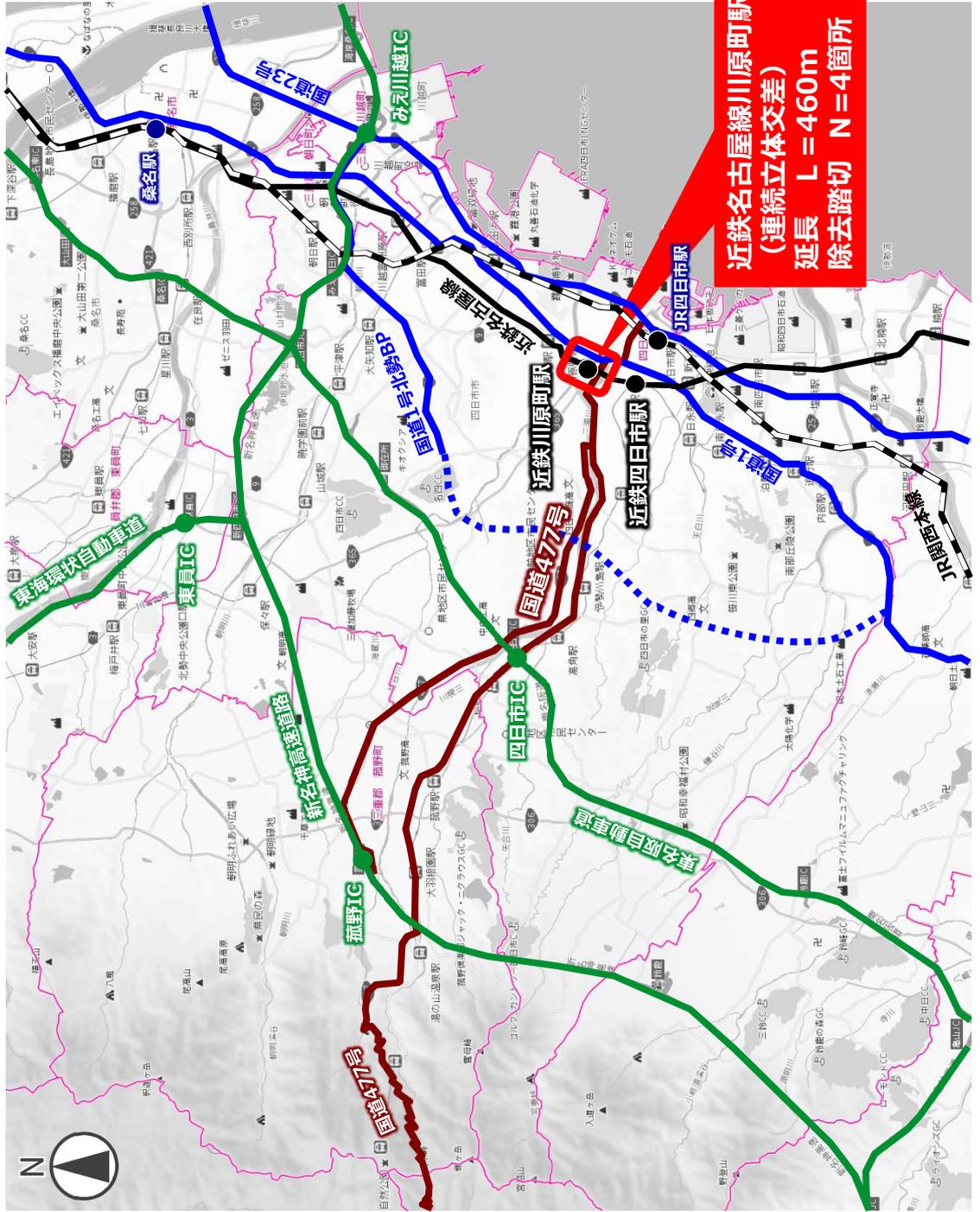
508番 海岸事業 長島地区海岸



509番 海岸事業 磯津地区海岸



510番 街路事業 近鉄名古屋線川原町駅付近(連続立体交差)



令和4年度三重県公共事業再評価箇所一覧表

事業番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況				事業を巡る 社会経済情勢 等の動向	費用対便益分析結果 ・コスト削減の可能性 ・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見概要	対応方針	事業方針概要
					採択年 と 目標年	総事業費 工事費 用地費	進捗率 進捗率 進捗率	事業進捗内容						
1	治山事業	東又谷	②	<p>【全体事業概要】 谷止工(コンクリート)2基 谷止工(鋼製スリット)1基 谷止工(インセム)1基 流路工(床固工2基含む) 273.3m 植栽工1.4ha</p> <p>【事業目的】 平成23年9月台風12号の豪雨にもない山腹崩壊が発生し、大量の不安定土砂が渓流に堆積したため、不安定土砂の移動抑制、山腹斜面の山脚固定、流水の捕捉及び渓岸侵食の防止を目的として治山事業を行う。</p>	<p>【施工済み】 谷止工(コンクリート)1基 谷止工(鋼製スリット)1基 谷止工(インセム)1基 流路工(床固工)1基 む)239.7m 植栽工0.8ha</p>	<p>71.6%</p>	<p>1,300</p>	<p>71.6%</p>	<p>近年異常気象による災害が日本各地で頻発していることもあり、地域住民の降雨災害に関する危機管理意識が高まっております。当該事業の早期完了が強く望まれている。</p>	<p>【費用対効果】 総便益(B) 1,787百万円 総費用(C) 1,376百万円 分析結果(B/C) 1.30</p> <p>【コスト削減の可能性】 東又谷支流の不安定土砂が異常堆積した区間に施工する谷止工・床固工について、現地の不安定土砂を中詰材として利用するインセム工法を採用し、コスト削減及び不安定土砂の有効活用を図っている。</p> <p>【代替案の検討】 代替案として、土砂撤去が考えられるが、期間が長期にわたる、残土処理場の確保が現実的に困難であることから、本事業を実施していく以外に代替案はない。</p>	<p>コスト削減と環境配慮に努めながら早期完成を目指す。事業を継続する。</p>	<p>事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。事業期間内で終わるよう計画的に進めていきたい。</p>	<p>今後も年度ごとに優先順位を考慮しながら重点的な予算配分を行い、事業の早期完了を図ります。</p>	
					<p>R7</p>									

注：再評価理由
 ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
 ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
 ③再評価実施後一定期間が経過している事業
 ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業

令和4年度三重県公共事業再評価箇所一覧表

(単位:百万円)

事業番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況				事業進捗内容	事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見概要	対応方針	事業方針概要
					採択年	進捗率									
						総事業費	工事費	用地費							
2	鶴力坂線	度会町	③	【全体事業概要】 全体事業費:1,560百万円 延長:8,350m 幅員:4.0m 利用区域面積:389ha	採択年	延長	進捗率	進捗率	延長:4,866m	度会町では、令和12年度を目標年度とする第7次年度会町総合計画を策定し、その前期基本計画の目標4(地域の文化と産業を活かすにぎわいつくりの推進)において、「農林業生産基盤の整備」をあげており、その主な取り組みとして林道および作業路網の整備を図ることとしている。	【費用対便益分析結果】 B/C=2.1(億52百万円/18億47百万円)=1.17 【コスト削減】 地形に沿った波形線形の採用や、路肩の削減、土工量の削減により、コスト削減を図る。 【代替案】 当路線の利用区域内の森林整備を図る必要があることから、当林道を開設する以外に代替案はない。	コスト削減と環境配慮に勤めながら、早期完成を目指し、事業を継続する。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。事業効果の十分な発現のために、早期の事業完成に努められたい。	継続	今後詳細な測量設計を実施していく中で、経済的な線形や工法について検討するなど、コスト削減に努めるとともに、事業予算の重点的な配分により、早期完成をめざして事業を進めたい。
					目標年	862	55.3%	55.3%							

注・再評価理由

- ① 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ② 事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③ 再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④ 社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業

※ 記載注意

- 1 事業名、番号、箇所名、市町名、再評価の理由は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り箇条書きとしてください。
- 3 採択年度、目標年度は、英字半角大文字、数字半角大文字としてください。
- 4 総事業費、工事費、用地費は現在の進捗の費用を百万円単位で記載し、数字半角文字とします。
- 5 進捗率は、%とします。
- 6 事業進捗内容は、再評価の当年度以前に実施した事業内容と次年度以降に実施する予定の事業内容を可能な限り箇条書きとしてください。
- 7 事業を巡る社会経済情勢等の変化、費用対便益分析結果、コスト削減の可能性、代替案の検討等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。

令和4年度三重県公共事業再評価箇所一覽表

(単位:百万円)

事業番号	箇所名	再評価の理由	事業進捗状況			事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見直し	委員会意見概要	対応方針	事業方針概要
			採択年 目標年	総事業費 工事費 用地費	進捗率 進捗率 進捗率						
河川事業 3	二級河川 堀切川	③	採択年 H29 目標年 R28	15,834 362	3% 2%	三重県を縦断する国道23号や近鉄名古屋線が流域を横断しており、交通網が集中する地域であり、過去の浸水実績の発生状況および想定氾濫区域内の人口及び資産状況から、依然として事業の必要性が高い状況です。近年(平成16年、平成24年)、浸水被害が発生していることから、早期に治水安全度を向上させることが望まれています。	①地盤高データを最新のデータで更新し、評価メッシュを細分化したことにより、浸水深が増加しました。 ②河川幅に余裕のある箇所における干潟の保全を行います。 ③河川の改修計画の手法に対する代替案には、『ダム案』、『遊水地案』があり、上流域の丘陵地は流域の大部分が平地であり、上流域の丘陵地は土地利用が進んでいないことから、ダムの適地は土地利用が進み、農地の中には集落も点在しており、広大な敷地を確保するには、用地の取得や移転補償が必要となり、社会的影響が大きく、設置は困難です。 過去から河道改修を進めてきた実績もあることから、河道改修が妥当と考えています。	治水安全度の向上のため、継続して事業の推進を図ります。 令和28年度の完成を目標として、引き続き整備を進めます。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。	継続	審査の結果、事業継続の妥当性が確認されたことから、浸水被害軽減を指して引き続き実施していきます。
				【全体事業概要】 全体事業費 15,834百万円 計画延長 (堀切川) L=3,970m (釜屋川) L=720m ・築堤 L=1,000m ・掘削 V=109,230m ³ ・引堤 L=450m ・護岸工 A=23,350m ² ・樋門・樋管 N=27基 ・橋梁 N=4橋 ・ポンプ増強 N=2基 【事業目的】 浸水被害を軽減するため、掘削、引堤及び築堤、護岸工、構断工作物の改築を実施することにより流下能力を増大させるとともに、高潮被害防止のために、水門や排水機場の整備を実施し、治水安全度の向上を図ります。	【実施事業内容】 ・引堤 L=70m 【以降事業内容】 ・築堤 L=1,000m ・掘削 V=109,230m ³ ・引堤 L=380m ・護岸工 A=23,350m ² ・樋門・樋管 N=27基 ・橋梁 N=4橋 ・ポンプ増強 N=2基						

注:再評価理由

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③再評価実施後一定期間を経過している事業
- ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要がある生じた事業

※ 記載注意

- 1 事業名 番号 箇所名、市町名、再評価の理由は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り箇条書きとしてください。全体事業費(計画)を記載してください。
- 3 採択年度、目標年度は、英字半角大文字、数字半角大文字としてください。
- 4 総事業費、工事費、用地費は現在の進捗の費用を百万円単位で記載し、数字半角大文字とします。
- 5 進捗率は、%とします。
- 6 事業進捗内容は、再評価の当年度以前に実施した事業内容と次年度以降に実施する予定の事業内容を可能な限り箇条書きとしてください。
- 7 事業を巡る社会経済情勢等の変化、費用対便益分析結果、コスト縮減の可能性、代替案の検討等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。

令和4年度三重県公共事業再評価箇所一覧表

(単位:百万円)

事業番号	箇所名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見概要	対応方針	事業方針概要	
				採択年 と 目標年	総事業費 工事費 用地費	進捗率 進捗率 進捗率							事業進捗内容
4	一級河川五十鈴川	③	【全体事業概要】 全体事業費 5,664百万円 計画延長 (五十鈴川) L=3,600m ・築堤 V=5,120m ³ ・掘削 V=49,800m ³ ・護岸工 L=7,040m ・橋梁 N=2橋 ・堰 N=1基	H29	5,664	10%	【実施事業内容】 ・掘削 V= 3,100m ³ ・護岸 L= 490m 【以降事業内容】 ・築堤 V= 5,120m ³ ・掘削 V= 46,700m ³ ・護岸工 L= 6,550m ・橋梁 N= 2橋 ・堰 N= 1基	流域には国道23号・国道42号・JR参宮線・近鉄烏羽線等のこの地方の根幹をなす交通網の拠点がああるなど、伊勢市を中心とした地域の社会・経済・文化の基盤をなしています。伊勢神宮が残り、周辺には豊かな自然環境が残っています。伊勢神宮には、数々の重要な文化財が存在するほか、昔の街並みが再現しておおかげ横丁が隣接しており、毎年多くの観光客が訪れています。このような状況から、河川事業の必要性は非常に高い状況です。	①地盤高データを最新のデータに更新し、評価マシユを細分化したことにより氾濫範囲、浸水深が減少したことや、近年の事業実績を基に維持管理費を精査した結果、費用便益比(B/C)が減少する結果となりました。 ②河道掘削等による築生土を築堤の盛土材や他の公共事業に流用し、有効利用すること努めます。また、護岸の構造や工法選定の際には適宜経済比較等を行い、コスト削減に努めます。 ③河川の改修計画の手法に対する代替案に『ダム案』、『遊水地案』、『遊水地案』、『ダム案』は流域の大部分が平地であり、ダムによる洪水調節では広大な敷地が必要となります。このため沿川に広がる広大な農地を犠牲にすることになり、設置が困難です。過去から、河道改修を進めてきた実績もあることか、河道改修が妥当と考えています。	治水安全度の向上のため、継続して事業の推進を図ります。令和28年度の完成を目標として、引き続き整備を進めます。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。	継続	審査の結果、事業継続の妥当性が確認されたことから、浸水被害軽減を目的として引き続き実施していきます。
			【事業目的】 浸水被害軽減のため、護岸整備や河道掘削などの河川改修により流下能力を大きくさせ、治水安全度の向上を図ります。	R28	685	3%							

注:再評価理由

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要がある事業

※記載注意

- 1 事業名、番号、箇所名、市町名、再評価の理由は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り簡潔にしてください。
- 3 採択年度、目標年度は、英字半角大文字、数字半角文字としてください。
- 4 総事業費、工事費、用地費は現在の進捗の費用を百万円単位で記載し、数字半角文字とします。
- 5 進捗率は、%とします。
- 6 事業進捗内容は、再評価の当年度以前に実施した事業内容と次年度以降に実施する予定の事業内容を可能な限り簡潔に書き添えてください。
- 7 事業を巡る社会経済情勢等の変化、費用対便益分析結果、コスト削減の可能性、代替案の検討等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。

令和4年度三重県公共事業再評価箇所一覧表

(単位:百万円)

事業名	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見直し	委員会意見概要	対応方針	事業方針概要		
					採択年	総事業費	進捗率							事業進捗内容	
河川事業	5	伊勢市	③	【全体事業概要】 全体事業費 6,174百万円 計画延長 (松尻川) L=1,660m ・築堤 L=160m ・掘削 V=84,000m ³ ・護岸工 L=2,334m ・道路橋 N=2橋 ・歩道橋 N=2橋 ・水路橋 N=2橋	採択年	6,174	8%	【実施事業内容】 ・護岸工 L=80m ・水路橋 N=1橋 【以降事業内容】 ・築堤 L=160m ・掘削 V=84,000m ³ ・道路橋 N=2橋 ・歩道橋 N=2橋 ・水路橋 N=1橋	伊勢市の中心部を流域に持つ松尻川は、流域内の約3/4は市街地であり、JR線、近鉄線等の鉄道や主要幹線道路の国道23号など交通網が整備されています。また、沿川は大型商業店舗が進出しており、災害医療拠点である伊勢赤十字病院(平成24年1月)が開院しています。このような状況から河川事業の必要性は非常に高い状況です。	① 地盤高データを最新のデータに更新し、評価メッシュを細分化したことにより氾濫範囲・浸水深が減少した結果、費用便益比(B/C)が減少する結果となりました。 ② 河床掘削等による養生工を他の公共事業に流用し、有効活用することで、建設副産物の発生を抑制しコスト削減に努めます。護岸の構造や施工に関して、新たな技術開発があった場合には、適宜比較を行いながら、周辺環境にも配慮して、経済性に考慮した新技術や工法の導入を図っていきます。 ③ 河川の改修計画の手法に對する代替案には、『ダム案』『遊水地案』がありますが、『ダム案』は流域の大部分が平地であり、ダム周辺の開発が進んでいる中で、新たに用地を取得することや、補償することは困難であることから、河道改修を進めてきた実績もあ	治水安全度の向上のため、継続して事業の推進を図ります。 令和28年度の完成を目標として、引き続き整備を進めます。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。工法変更があつた箇所については、伊勢という土地柄を考慮して、関係機関と協議しながら、より一層の景観の配慮に努められたい。	継続	審査の結果、事業継続の妥当性が確認されたことから、浸水被害軽減を旨として引き続き実施していきます。松尻川の整備にあつては、景観行政団体である地元伊勢市と協議しながら、周囲の景観と馴染む材料の選定を行う等、より一層の景観の配慮した整備を進めていきます。	
				目標年	H29	5,783	18%	【事業目的】 浸水被害軽減のため、護岸整備や河道掘削などの河川改修により流下能力を増大させ、治水安全度の向上を図ります。	採択年	285	46%				
				採択年	目	R28									

注:再評価理由

- ① 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ② 事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③ 再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④ 社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業

※ 記載注意

- 1 事業名、番号、箇所名、市町名、再評価の理由は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り箇条書きとしてください。
- 3 採択年度、目標年度は、英字半角大文字、数字半角文字としてください。
- 4 総事業費、工事費、用地費は現在の進捗の費用を百万円単位で記載し、数字半角文字とします。
- 5 進捗率は、%とします。
- 6 事業進捗内容は、再評価の当年度以前に実施した事業内容と次年度以降に実施する予定の事業内容を可能な限り箇条書きとしてください。
- 7 事業を巡る社会経済情勢等の変化、費用便益分析結果、コスト削減の可能性、代替案の検討等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。

令和4年度三重県公共事業再評価箇所一覧表

(単位:百万円)

事業番号	箇所名	市町名	再評価の理由	事業進捗状況				事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見概要	対応方針	事業方針概要
				採択年	総事業費	進捗率	事業進捗内容						
6	一級河川大内山川	大紀町	<p>【全体事業概要】 全体事業費 2,569百万円 計画延長 (大内山川) L=6,900m</p> <p>・築堤 V=2,343m³ ・掘削 V=380,000m³ ・護岸工 L=2,651m ・橋梁 N=2橋</p>	採択年	総事業費	進捗率	事業進捗内容	<p>大内山川沿川には、国道42号やJR紀勢本線が並走しています。紀勢自動車道は、令和3年8月に尾鷲北(C～尾鷲南(C)間の延長5.4km区間が供用開始となり、これにより熊野大泊ICまで全線区間が開通し、交通の利便性や物流の安定性が向上しています。</p> <p>近年(平成16年、平成23年)浸水被害が発生していることから、早期に治水安全度を向上させています。</p>	<p>①地盤高データを最新のデータに更新し、評価メッシュを細分化した結果、浸水範囲が減少したことや河床掘削にかかる事業費の見直し、近年の事業実績を基に維持管理費を精査した結果、費用便益比(B/C)が低下する結果となりました。</p> <p>②河床掘削等に有効利用することでコスト縮減に努めます。護岸の構造や施工に関して、新たな技術開発があった場合には、適宜比較を行いながら、周辺環境にも配慮して、経済性に考慮した新技術や工法の導入を図っていきます。</p> <p>③河川の改修計画の手法に対する代替案には、『ダム案』、『遊水地案』があります。『ダム案』は河川沿いに国道42号やJR紀勢本線が並走し、集落が点在していることから、ダムサイトとしての適地はなく、また『遊水地案』は山あい位置しており、遊水地として必要となる広大な土地が無く、適地がありません。過去から河川改修を進めてきた実績もありません。過去から、河道改修が妥当と考えています。</p>	<p>治水安全度の向上のため、継続して事業の推進を図ります。</p> <p>令和28年度の完成を目標として、引き続き整備を進めます。</p>	<p>事業継続の妥当性が認められたことから、事業継続を了承する。</p>	<p>継続</p>	<p>審査の結果、事業継続の妥当性が確認されたことから、浸水被害軽減を目標として引き続き実施していきます。</p>
				目標年	工事費	用地費	<p>【実施事業内容】 ・築堤 V=1,322m³ ・護岸工 L=580m</p> <p>【以降事業内容】 ・築堤 V=1,021m³ ・掘削 V=380,000m³ ・護岸工 L=2,071m ・橋梁 N=2橋</p>						

注:再評価理由

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未竣工の事業
- ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要があるとした事業

※ 記載注意

- 1 事業名、番号、箇所名、市町名、再評価の理由は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り箇条書きとしてください。全体事業費(計画)を記載してください。
- 3 採択年度、目標年度は、英字半角大文字、数字半角大文字としてください。
- 4 総事業費、工事費、用地費は現在の進捗の費用を百万円単位で記載し、数字半角大文字とします。
- 5 進捗率は、%とします。
- 6 事業進捗内容は、再評価の当年度以前に実施した事業内容と次年度以降に実施する予定の事業内容を可能な限り箇条書きとしてください。
- 7 事業を巡る社会経済情勢等の変化、費用便益分析結果、コスト縮減の可能性、代替案の検討等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。

令和4年度三重県公共事業再評価箇所一覽表

(単位:百万円)

事業番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的			事業進捗状況			事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見概要	対応方針	事業方針概要
				採択年度	総事業費	進捗率	事業進捗内容	進捗率	進捗率						
7	河川事業	志摩市	③	【全体事業概要】 全体事業費 1,210百万円 計画延長 (前川) L=1,710m ・築堤 V=3,400m ³ ・掘削 V=14,700m ³ ・護岸工 A=6,100m ² ・ボックスカルバート N=1基 ・橋梁 N=1橋 ・水門(耐震) N=1基	H29	1,210	28%	【実施事業内容】 ・水門(耐震) N=1基 【以降事業内容】 ・築堤 V=3,400m ³ ・掘削 V=14,700m ³ ・護岸工 A=6,100m ² ・ボックスカルバート N=1基 ・橋梁 N=1橋	前川沿川には、近鉄志摩線や、国道167号、国道260号、県道128号などの交通網が充実し、移動性に優れていることから、住宅及び商業施設が集積し、市街地が広がっています。過去の浸水実績の発生状況および想定氾濫区域内の人口及び資産状況から、依然として事業の必要性が高い状況です。近年(平成27年)にも、浸水被害が発生していることから、早期に治水安全度を向上させることが望まれています。	①地盤高データを最新のデータに更新し、評価メッシュを細分化したことにより浸水面積が増加したため、費用便益比(B/C)が増加する結果となりました。 ②環境への配慮として護岸工法は、水生生物の生息環境に配慮し、多孔質な構造とするともに、覆土を行うなどして水際の植生を保全します。 ③河川の改修計画の手法に対する代替案には、『ダム案』、『遊水地案』があり、上流域の山地は低山地の大部分が平地であり、土地利用が進んでいることから、ダムの適地がありません。また『遊水地案』は流域平地部は土地利用が進んでおり、広大な敷地を確保するには、用地の取得や移転補償が必要となり、社会的影響が大きき、設置は困難です。過去から河道改修を進めてきた実績もあ	治水安全度の向上のため、継続して事業の推進を図ります。 令和28年度の完成を目標として、引き続き整備を進めます。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。	継続	審査の結果、事業継続の妥当性が確認されたことから、浸水被害軽減を目的として引き続き実施していきます。	
				28	32	72%									

注:再評価理由

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要がある事業

※記載注意

- 1 事業名、番号、箇所名、市町名、再評価の理由は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り箇条書きとしてください。
- 3 採択年度、目標年度は、英字半角大文字、数字半角大文字としてください。
- 4 総事業費、工事費、用地費は現在の進捗の費用を百万円単位で記載し、数字半角大文字とします。
- 5 進捗率は、%とします。
- 6 事業進捗内容は、再評価の当年度以前に実施した事業内容と次年度以降に実施する予定の事業内容を可能な限り箇条書きとしてください。
- 7 事業を巡る社会経済情勢等の変化、費用対便益分析結果、コスト削減の可能性、代替案の検討等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。

令和4年度三重県公共事業再評価価値所一覽表

(単位:百万円)

事業番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	事業進捗状況			事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見概要	対応方針	事業方針概要	
				採択年 目	進捗率								事業進捗内容
					総事業費 工事費	用地費							
河川事業 8	一級河川木津川河川事業	伊賀市	<p>【全体事業概要】 全体事業費 10,692百万円 計画延長 (木津川) L=11,400m (服部川) L= 1,000m</p> <p>・築堤 V=85,800m³ ・掘削 V=555,100m³ ・護岸工 L=14,218m ・特殊堤 L=600m ・樹木伐採 A=92,900m² ・橋梁 N=5橋 ・堰 N=7基</p> <p>【事業目的】 浸水被害軽減のため、河道の拡幅と掘削、築堤工、護岸工等の施工、横断工作物の改善により流下能力を増大させ、治水安全度の向上を図ります。</p>	H29	10,692	11%	<p>【実施事業内容】 ・築堤 V= 4,300m³ ・掘削 V= 97,100m³ ・護岸 L= 1,379m ・橋梁 N= 1橋 ・堰 N= 2基</p> <p>【以降事業内容】 ・築堤 V= 81,500m³ ・掘削 V= 458,000m³ ・護岸 L= 12,839m ・特殊堤 L= 600m ・樹木伐採 A= 92,900m² ・橋梁 N= 4橋 ・堰 N= 5基</p>	<p>中下流部は、国道や伊賀鉄道、JR関西本線の駅周辺等を中心に集落が形成されおり、依然として河川事業の必要性は非常に高い状況です。近年(平成2年、5年、6年、21年、24年、25年)、浸水被害が発生していることから、早期に治水安全度を向上させることが望まれています。</p>	<p>①地盤高データを最新のデータに更新し、評価メッシュを細分化したことにより氾濫範囲、浸水深が増加し、資産データを最新のデータに更新した結果、資産額が増加したことから、費用便益比(B/C)が増加する結果となりました。</p> <p>②河道掘削等による発生土を築堤の盛土材や他の公共事業に流用し、有効利用することで、建設副産物の発生を抑制しコスト縮減に努めます。また、横断工作物の改善については、管理者との協議のうえ統廃合を行うことによる改修コストの縮減が行えないか検討します。</p> <p>③河川改修計画の手法である河道改修に対する代替案には、『ダム案』、『遊水地案』が、地理的な条件、経済性、実現可能性、過去から河道改修を進めてきた経緯、上下流で実施している関連事業の状況等より総合的に判断して、現在進行中の河道改修計画による改修を進めることが妥当である</p>	<p>治水安全度の向上のため、継続して事業の推進を図ります。</p> <p>令和28年度の完成を目標として、引き続き整備を進めます。</p>	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。	継続	審査の結果、事業継続の妥当性が確認されたことから、浸水被害軽減を目指して引き続き実施していきます。
				目	405	14%		R28					
				目									

注:再評価理由

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要がある生じた事業

※ 記載注意

- 1 事業名、番号、箇所名、市町名、再評価の理由は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り箇条書きとしてください。
- 3 採択年度、目標年度は、英字半角大文字、数字半角文字としてください。
- 4 総事業費、工事費、用地費は現在の進捗の費用を百万円単位で記載し、数字半角文字とします。
- 5 進捗率は、%とします。
- 6 事業進捗内容は、再評価の当年度以前に実施した事業内容と次年度以降に実施する予定の事業内容を可能な限り箇条書きとしてください。
- 7 事業を巡る社会経済情勢等の変化、費用便益分析結果、コスト縮減の可能性、代替案の検討等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。

令和4年度三重県公共事業再評価箇所一覧表

(単位:百万円)

事業番号	事業名	再評価理由	市町名	採択年度	事業進捗状況			事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見概要	対応方針	事業方針概要	
					採択年度	総事業費	進捗率							事業進捗内容
9	海岸事業	③	志摩市	〃	7,060	76.5%	<p>【全体事業概要】</p> <p>〔的矢地区〕 護岸(補強):1,373m 陸間(改良):7基</p> <p>【整備済み内容】</p> <p>〔的矢地区〕 護岸(補強):1,142m 陸間(改良):7基</p> <p>【残事業内容】</p> <p>〔的矢地区〕 護岸(補強):231m</p>	<p>【社会的状況の変化】</p> <p>想定浸水地域は、依然として人家が密集しており、事業の必要性に変化はありません。近年の台風の大規模化や集中豪雨の多発等もあり、当事業に対する地元関係者は非常に高く、護岸の早期全面完成が望まれています。</p>	<p>【費用対効果分析】</p> <p>B/C=2.39</p> <p>【コスト削減】</p> <p>当海岸はリアス式海岸で形成された複雑な地形であることから、土質調査の結果を踏まえ、設計工区を細分化し、工区ごとに経済的な断面を採用するなど、設計時において可能な限りコストの削減に取り組んでいきます。</p> <p>また、工種ごとの大ロット施工により地盤改良船等の組立・解体費を削減しています。</p>	<p>【今後の見通し】</p> <p>今後も、効率的な施工に努め、早期の事業完了を目指して引き続き事業を推進してまいります。</p>	<p>事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。事業期間が早期にわたることから事業期間の短縮を図り事業の早期完成に努められたい。</p>	<p>事業期間の短縮に向けて、引き続き、工種ごとの大ロット化による効率的な施工を実施することでコスト削減を図るとともに、補正予算の活用等により必要な予算確保に努めることで、早期完成を目指します。また、事業期間が長期にわたることから、整備完了区間について、長寿命化計画に基づき、定期的な巡回・点検を実施し、適切な維持管理を行います。</p>	継続	事業期間の短縮に向けて、引き続き、工種ごとの大ロット化による効率的な施工を実施することでコスト削減を図るとともに、補正予算の活用等により必要な予算確保に努めることで、早期完成を目指します。また、事業期間が長期にわたることから、整備完了区間について、長寿命化計画に基づき、定期的な巡回・点検を実施し、適切な維持管理を行います。
				R13	-	-	<p>【代替案】</p> <p>代替案として、一般的に、二重鋼管杭工法や前方斜(し)や杭くい式工法が挙げられます。しかし、二重鋼管杭工法は、既設護岸の前面から15m程度前方に張り出すため、航路の確保ができず、漁業への影響が大きい工法であることから不採用となりました。</p> <p>また、前方斜杭式工法は、構造計算の結果、必要となる安全度を満足しなかったことから不採用となりました。代替案はこれらを除く、現計画で整備を進め</p>							

注:再評価理由

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要がある生じた事業

※記載注意

- 1 事業名、番号、箇所名、市町名、再評価の理由は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り簡潔書きとしてください。全体事業費(計画)を記載してください。
- 3 採択年度、目標年度は、英字半角大文字、数字半角大文字としてください。
- 4 総事業費、工事費、用地費は現在の進捗の費用を百万円単位で記載し、数字半角大文字とします。
- 5 進捗率は、%とします。
- 6 事業進捗内容は、再評価の当年度以前に実施した事業内容と次年度以降に実施する予定の事業内容を可能な限り簡潔書きとしてください。
- 7 事業を巡る社会経済情勢等の変化、費用対便益分析結果、コスト削減の可能性、代替案の検討等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。

令和4年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表

事業番号	箇所名	市町村名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度		事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題	委員会意見概要	事業方針概要
					当初	最終							
501	農業農村整備事業	松阪市、多気町、明和町	<p>【全体事業概要】 【施工延長】 L=10,996m L=4,124m L=6,872m</p> <p>① 中南勢 2期 ② 中南勢 2期</p>	H11	当初	H26	<p>【事業の効果】 広域農道が整備されたことで、農産物運搬時の品質を守ることによる効果、農産物を運ぶ車両の大型化等により運搬の効率性が向上し、走行経費の低減や人件費が削減される効果があります。</p> <p>また、間接的効果として、ワゴン内の産直市場への農産物運搬、ワゴドピア松阪への木材運搬において、広域農道を活用することで運搬時間が短縮されるため走行経費の削減効果も得られています。</p> <p>【事業効果の評価】 B/C = 1.53</p>	<p>【工事施工】 トンネル工事等で発生した岩を道路盛土に利用や、トンネルからの湧水を補給的な農業用水として利用できる構造とすることで、建設廃棄物の削減と土砂等の環境負担の軽減に努めました。</p> <p>【アンケート結果】 自然環境面への影響については、農道の悪影響の中で交通事故が大半で、「自然環境が悪くなった」と「景観が悪くなった」は少数であり、大きくは少くないと考えられます。</p>	<p>【農家戸数】 松阪市の農家戸数減少率(46.1%)は県全体の減少率(45.2%)と近く、農家戸数の減少は避けられない状況となっています。</p> <p>【作付け状況】 本地域の耕地面積は平成23年度から4.4%減少しました。県全体の6.0%減少と比べると減少率は低い傾向にあります。</p>	<p>【アンケート調査の概要】 中南勢・中南勢2期地区周辺住民675戸を対象にアンケート調査を実施して、415戸から回答をいただきました。</p> <p>【アンケート結果】 広域農道が整備されたことで、「農地への通利になった」「通勤・通学、レジャーや出張施設への走行時間が短縮された」「緊急車両等の走行時間が短縮された」「緊急時の安全性が向上した」など全体の89%の方から効果があったと回答をいただきました。</p> <p>このことから、本事業による効果を確認することができました。</p>	<p>【今後の課題】 ・広域農道が整備されたことで、交通事故の発生を危惧した交通安全施設等の設置や道路沿いの草や木の伐採など道路維持管理に関する意見がありました。また、今後、施設の老朽化に伴い修繕が必要となってきます。</p> <p>【対応事項】 ・道路管理者である市町に情報共有していくとともに、今後の維持管理等において将来を見据えた事業制度の情報提供を行っていきます。</p>	<p>事業の効果については評価結果の妥当性を認める。</p>	<p>今後も道路管理者である市町に対して、基幹的な農道としての効果十分に発揮されるよう関係する事業制度の情報提供を行うなど必要な対応に努めてまいります。</p>
			最終		7,703	7,794							

※再評価実施事業は「前回」とし、再評価時の値を記載する。それ以外は「当初」とし、当初評価時の値を記載する。

記載注意

- 1 事業名、番号、箇所名、市町名は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り箇条書きとしてください。
- 3 採択年度、完了年度は、英字半角大文字、数字半角文字としてください。
- 4 ○○の欄は、再評価実施の場合は当初として当初評価時の内容を、再評価実施済みの場合は前回として前回評価時の内容を記載してください。
- 5 総事業費は百万円単位とし、数字半角大文字とします。
- 6 事業の効果、事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化、事業を巡る社会経済情勢等の変化、事業の効果、今後の課題等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。
- 7 様式は、表計算ソフトのデジタル媒体としてください。

(第9号様式)

令和4年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表

事業番号	箇所名	市町村名	採択年度	完了年度		事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題	委員会意見概要	事業方針概要
				当初	最終							
502	水産基礎整備事業	桃取地区	H20	当初	H26	舟越漁港から、海況状況に左右されない桃取漁港への効率的な運搬が可能となること、水産物の流通及び漁業用資材の輸送を合理化し、輸送時間の短縮による水産物の品質向上やコストの低減、安心安全かつ安定的な水産物の供給網の構築、漁村環境の改善が図られる。	当該事業において影響を受けると予測された種別及び面生類に対し、保全対策を実施したため、環境影響による絶滅等の影響はない。考慮された希少動植物においては、その影響を受けなかった場所へ移植および放流を行った。	漁船隻数は減少傾向にあるが、全国、三重県と比べ減少傾向は緩やかである。全国、三重県と同様に減少傾向である。漁業就業者の減少、高齢化が進んでいるが、全国、三重県と比べ就業者の減少の割合は緩やかである。全国、三重県と比べ、漁業就業者の60歳以上の高齢者の割合は、H25年まで低く推移していた。	・関連道の利用により水産物の輸送時間が短縮され、漁業活動の効率性、品質が向上した。 ・県道759号の利用時と比べSカーブや走行時間が減少し、水産品の荷崩れが少なくなった。 ・関連道整備前に水産物の運搬等に活用していた県道はSカーブが多く、道幅も狭いため、事故が多く発生していたが、関連道は道幅が広く走行の安全性が向上した。 ・島民の日常生活において、関連道の利用により、走行時間が短縮され、利便性が向上した。	・関連道の清掃を鳥羽機部協力で実施しており、現状補助金がなく、清掃道具の購入費が負担となった。今後も持続的に利用しやすいよう、維持管理方法について検討する。 ・漁業活動のみならず、住民にとっても重要な道路となったため、より利便性を向上させるための方策を検討する。	今後、事業計画を策定する際には、事業完了後の維持管理が軽減される工法の検討を行うとともに、事業完了後の連携して策定していきます。	
				最終	1,200	【事業目的】 水産物の流通及び漁業用資材の輸送を合理化し、輸送時間の短縮による水産物の品質向上やコストの低減、安心安全かつ安定的な水産物の供給網の構築、漁村環境の改善を図る。						
				当初	H28	【事業効果の評価】 B/C=1.38						

※再評価実施事業は「前回」とし、再評価時の値を記載する。それ以外は「当初」とし、当初計画時の値を記載する。

※ 記載注意

- 1 事業名、番号、箇所名、市町名は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り箇条書きとしてください。
- 3 採択年度、完了年度は、英字半角大文字、数字半角大文字としてください。
- 4 ○○の欄は、再評価実施の場合は当初として当初計画時の内容を、再評価実施済みの場合は前回として前回評価時の内容を記載してください。
- 5 総事業費は百万円単位とし、数字半角大文字とします。
- 6 事業の効果、事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化、事業を巡る社会経済情勢等の変化、事業の意見、今後の課題等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。
- 7 様式は、表計算ソフトのテンプレートとしてください。

令和4年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番 号	箇所名	市 町 名	採択年 度	全体事業概要と目的	完了年度		事業の効果	事業の環境面への配慮 及び事業による環境の 変化	事業を巡る社会経済情 勢等の変化	今後の課題	委員会意見概要	事業方針概要
						前回※4 最終	最終						
道路事業	503	一般国道477号西浦バイパス	四日市市	H18	<p>【全体事業概要】 延長L=0.46km 幅員W=6.0(7.5)m 除去踏切1箇所 主要構造物 函渠1基</p> <p>【事業目的】 バイパス整備により、自動車交通の円滑化・安全な交通機能の確保</p>	H29	1,917	<p>■費用便益費 B/C=3.3(前回2.0) ■その他の効果 ・踏切渋滞や冠水による通行止めリスクが減少し、第一次緊急輸送道路としての機能が強化された。 ・踏切除去により、線路を挟んだ東西を円滑に移動できるようになったため、宅配等物流効率化、従事者への負担軽減につながっている。</p>	<p>「三滝川ふるさとの川整備事業」と一体性のある調和のとれたデザインとし、土留め壁として環境配慮型ブロックを使用している。</p>	<p>周辺エリアの人口及び世帯数が増加、川原町駅の鉄道乗降客数も増加している(コロナ禍迄)。今後も道路利用者が増加すると考えられ、更なる効果発現が期待される。</p>	<p>一般国道477号西浦バイパスの意見として事業箇所周辺の2,043世帯へアンケートを配布するとともに、WEBアンケートを実施した。また、利便性向上の観点から、関係機関へのヒアリングを実施した。住民アンケートは、1,008通の回答が得られた。WEBアンケートにおいては、416名の方から回答が得られた。地域住民の約65%、道路利用者WEBアンケートでは約71%が満足と回答している。</p>	<p>アンダーパスを自動車を通る際に大きい音がするため、グレーチングを蓋に替える等対策をしてほしい。 →対応方針:騒音については、ボルトの締めが確認されたため、速やかに締め直しを行った。今後も、日々のパトロール業務の中で適切に維持管理を行い、騒音防止に努めていく。</p>	<p>アンダーパスの騒音は、グレーチング蓋のたたき音が原因であったため、蓋を固定するボルトを締め直し、騒音を抑制する対策を行いました。今後も日々のパトロール業務の中で蓋の状況を確認するなど、適切に維持管理を行い、騒音防止に努めていきます。</p>
						H29	1,871						

※再評価実施事業は「前回」とし、再評価時の値を記載する。それ以外は「当初」とし、当初計画時の値を記載する。

※ 記載注意

- 1 事業名、番号、箇所名、市町名は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り箇条書きとしてください。
- 3 採択年度、完了年度は、英字半角大文字、数字半角文字としてください。
- 4 ○○の欄は、再評価実施の場合は当初として当初計画時の内容を、再評価実施済みの場合は前回として前回評価時の内容を記載してください。
- 5 総事業費は百万円単位とし、数字半角文字とします。
- 6 事業の効果、事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化、事業を巡る社会経済情勢等の変化、事業の意見、今後の課題等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。
- 7 様式は、表計算ソフトのテンプレートとしてください。

令和4年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

事業名	箇所名	市町村名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度		事業の効果	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題	委員会意見概要	事業方針概要
					前回※4	最終						
504 道路事業	一般国道167号 鶴方磯部	志摩市	<p>【全体事業概要】 延長 L=7.65km 幅員 W=6.5(12.25)m</p> <p>主要構造物 トンネル工1本 橋梁工5橋</p> <p>【事業目的】 朝夕、休日や観光シーズンに慢性的な交通渋滞解消による安全で円滑な交通の確保</p>	S61	H29	14,565	<p>■費用便益費 B/C=2.3(前回1.9)</p> <p>■その他の効果 ・救急搬送時間が約5分短縮(約55分→約50分)、救命率の向上に繋がっている。</p> <p>・鶴方市内の低地部では津波浸水被害も想定されることから、地域の高台を通過するバイパスを計画することにより被害発生後の避難や物資輸送などの防災機能を強化。</p> <p>・志摩市中心部(鶴方駅周辺、寶島)と志摩町方面を目的とする交通が現道とバイパスに分散が図られたことで、鶴方駅周辺の鳥口交差点(主要渋滞箇所)の交通渋滞も緩和され、周遊観光の利便性が向上。</p> <p>・志摩市中心部(鶴方駅周辺)全体の混雑も緩和され、生活道路を通り抜ける交通も滞り、駅周辺の道路における集配作業を効率化。</p>	<p>施工中の処理として、降雨により濁水が発生しやすい土質であったため、そのまますみ水を流下させないよう沈砂池の設置や汚濁防止フェンスを設置した。また、事業による環境の変化については、法面に植生工を施工することで周辺環境との調和を図った。</p>	<p>平成28年に伊勢志摩サミットが開催され、志摩市への入込み客数は増加傾向にある。</p> <p>令和2年以降はコロナウイルスの影響により減少しているが、ヒアリング調査等から訪問者の多くが自動車を利用しており、道路事業の有効性が確認された。</p>	<p>一般国道167号鶴方磯部バイパスの意見として志摩市在住の3,000人の住民へアンケートを配布するとともに、WEBアンケートを実施した。また、関係機関上の視点から、関係機関へのヒアリングを実施した。</p> <p>住民アンケートは、1,550通の回答を得られた。WEBアンケートにおいても、315名の方から回答を得られた。地域住民の約97%、道路利用者のWEBアンケートでは約96%が満足と回答している。</p>	<p>事業の効果については、評価結果の妥当性を認める。</p>	<p>土橋交差点において、伊勢、鳥羽方面から志摩市街方面への右折車が多く、1回の青信号で右折できずに残った車両が右折レーンを超え直進車道の通行を阻害して、交通渋滞が発生していました。これを解消するために、右折レーンを伸ばす対策工事を実施しました。今後は、対策の効果を確認し、交通渋滞が解消しない場合は、右折矢印信号の青時間の延長に協議してまいります。</p>

※再評価実施事業は「前回」とし、再評価時の値を記載する。それ以外には「当初」とし、当初計画時の値を記載する。

※記載注意

- 1 事業名、番号、箇所名、市町名は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り箇条書きとしてください。
- 3 採択年度、完了年度は、英字半角大文字、数字半角大文字としてください。
- 4 ○○の欄は、再評価を実施の場合は当初として当初計画時の内容を、再評価を実施済みの場合は前回として前回評価時の内容を記載してください。
- 5 総事業費は百万円単位とし、数字半角大文字とします。
- 6 事業の効果、事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化、事業を巡る社会経済情勢等の変化、県民の意見、今後の課題等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。
- 7 様式は、表計算ソフトのテンプレート様式としてください。

令和4年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表

事業名	箇所名	市町村名	採択年度	全体事業概要と目的	事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題	委員会意見概要	事業方針概要
		当初		最終							
砂防事業	505	松ヶ久保川	H21	全体事業概要と目的 ・全体事業費:531百万円 ・堰堤工1基 【事業目的】 本溪流において、土石流による土石砂おおよび流水の流出を未然に防ぎ、人命や財産、公共施設などを保全するため、砂防事業を実施した。	①砂防堰堤の完成後、土石災害は発生していない。(土石流による土石砂おおよび流水の流出を未然に防いでいる) ②費用対効果 $B/C=5.16 > 1.0$ ③その他の効果 ・緊急輸送道路の被害の防止(国道163号) ・土石災害に対する地域住民の安心感の向上	・経済断面積を削減することによって、本堰堤の体積を削減し、資材の使用量を削減した。 ・残存型枠の三重県認定リサイクル製品を活用し、製造過程において天然資源の使用を削減している。	・短時間强降雨の発生回数が増加に伴う土石災害の発生リスクが増加、及び人口減少と高齢者の増加により、土石流対策事業の重要性が高くなってきている。	・回答者の88%が60代以上であり、地域の高齢化が進んでいることが伺える。 ・松ヶ久保川砂防堰堤の整備により、安心して暮らせるようになっていると感じている回答者は71%と高く、事業に対して満足していると思われる。 ・災害が発生した際に利用する避難場所の認知度は83%と高い。 ・津市が土石災害ハザードマップを作成し、公表していることの認知度は67%と高い。 ・松ヶ久保川が土石流による災害が発生する恐れのある浸流であること認知度は50%と高くない。	・土石災害警戒区域の認知度を向上させ、避難行動につなげるよう、概ね5年ごとに行われる土石災害警戒区域の見直し時に、改めて、土石災害警戒区域の範囲、意味、土石災害発生の可能性、避難行動の必要性等を対象地区住民の方々に繰り返し説明する。	事業の効果については評価結果の妥当性を認める。	・安心安全につなげるためには有効性のある警戒避難体制の確立が重要であるため、体制整備の主体である市を支援するなど、ソフト対策も進めていきます。
					完了年度 当初 最終 H26	総事業費 当初 最終 520	H29	531			

※再評価実施事業は「前回」とし、再評価時の値を記載する。それ以外は「当初」とし、当初計画時の値を記載する。

※記載注意

- 1 事業名、発着、箇所名は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り箇条書きとしてください。
- 3 採択年度、完了年度は、英字半角大文字、数字半角大文字としてください。
- 4 ○○の欄は、再評価実施の場合は当初として当初計画時の内容を、再評価実施済みの場合は前回として前回計画時の内容を記載してください。
- 5 総事業費は百万円単位とし、数字半角大文字とします。
- 6 事業の効果、事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化、事業を巡る社会経済情勢等の変化、県民の意見、今後の課題等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。
- 7 様式は、表計算ソフトのデジタル媒体としてください。

令和4年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表

(単位:百万円)

事業番号	箇所名	市町村名	採択年度	完了年度		事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題	委員会意見概要	事業方針概要
				当初	最終							
506	砂防事業	松の木谷川	H21	当初	H26	<p>①砂防堰堤の完成後、土砂災害は発生していない。(土石流による土砂および流木の流出を未然に防いでいる)</p> <p>②費用対効果 B/C=1.06>1.0</p> <p>③その他の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送道路の被害の防止(県道15号) 土砂災害に対する地域住民の安心感の向上 土石流に伴う雲出川の閉塞防止 	<p>・経済断面を採用することによって、本堰堤の体積を低減し、資材の使用量を削減した。</p> <p>・残存型枠の三重県認定リサイクル製品を活用し、製造過程において天然資源の使用を削減している。</p>	<p>・短時間強雨の発生回数の増加に伴う土砂災害の発生リスクが増加、及び人口減少と高齢者の割合の増加により、土石流対策事業の重要性が高くなっている。</p>	<p>・回答者の90%が60代以上であり、地域の高齢化が進んでいることが増える。</p> <p>・松の木谷川砂防堰堤の整備により、安心して暮らしていることと答えている回答者は47%である。</p> <p>その一方で、42%の方が安心して暮らせるようになつたと思わないと回答しており、土石流に対する不安が拭いきれない方も一定数いる。</p> <p>・津市が土砂災害ハザードマップを作成し、公表していること、認知度は84%と高い。</p> <p>・松の木谷川が土石流による災害が発生する恐れのある渡流であること、認知度は68%と高い。</p>	<p>・軍効性のある警戒避難体制を確立すること、過疎化地区や高齢化地区における警戒避難体制整備の先進事例を紹介するなどにより、警戒避難体制整備の主体である津市を支援していく。</p>	<p>事業の効果については評価結果の妥当性を認めている。本事業の効果について、地域住民に十分理解されるよう努められた。</p>	<p>・地域住民に向け、砂防堰堤の整備が土砂災害を未然に防止した効果事例の情報発信を行い、本事業の施設効果を理解していただきます。</p> <p>・安心安全につなげるためには、柔軟性のある警戒避難体制の確立が重要であるため、体制整備の主体である市を支援するなど、ソフト対策も進めていきます。</p>
				最終	537							

※再評価実施事業は「前回」とし、再評価時の値を記載する。それ以外は「当初」とし、当初評価時の値を記載する。

※記載注意

- 1 事業名、番号、箇所名、市町名は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り箇条書きとしてください。
- 3 採択年度、完了年度は、英字半角大文字、数字半角大文字としてください。
- 4 ○○の欄は、再評価実施の場合は当初として当初評価時の内容を、再評価実施済み場合は前回として前回評価時の内容を記載してください。
- 5 総事業費は百万円単位とし、数字半角大文字とします。
- 6 事業の効果、事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化、事業を巡る社会経済情勢等の変化、県民の意見、今後の課題等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。
- 7 様式は、表計算ソフトのデジタル媒体としてください。

令和4年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表

(単位:百万円)

事業名	番 号	箇 所 名	市 町 名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度		事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題	委員会意見概要	事業方針概要
						当初	最終							
砂防事業	507	奥西谷	熊野市新鹿町奥	【全体事業概要】 ・全体事業費:537百万円 ・堰堤工事	H20	当初	H28	①砂防堰堤の完成後、土砂災害は発生していない。(土石流による土砂および流水の流出を未然に防いでいる) ②費用対効果 B/C = 3.99 > 1.0 ③その他の効果 ・緊急輸送道の被害の防止(国道42号) ・土砂災害に対する地域住民の安心感の向上	・自然斜面の早期回復を図り、埋戻部に緑化工を施すといった環境に配慮した工法を採用した。 ・堰堤前面の樹木を残り、熊野尾層道路や集落から堰堤の存在が目立たないように景観に配慮した。	・短時間强降雨の発生回数の増加に伴う土砂災害の発生リスクが増加、及び高齢者の増加により、土石流対策事業の重要性が高くなっている。 ・下流には海水浴場があり、堰堤直下流にある国道42号熊野尾層道路が訪問の手段として重要となっているため、本堰堤による土石流からの保護が重要となっている。	・回答者全員が60代以上であり、地域の高齢化が進んでいることが伺える。 ・奥西谷砂防堰堤の整備により、安心して暮らせるようになってきたと感じている回答者は60%である。 ・三重県土砂災害情報提供システムの認識度は20%となっており、さらなる周知が必要である。 ・今後の土砂対策としてハード・ソフトの両方から推進すべきであると考えられている住民が多数である。	・土砂災害警戒区域のさらなる周知を行う。 ・三重県土砂災害情報提供システムのさらなる周知を行う。	事業の効果については評価結果の妥当性を認める。	・安心安全につなげるためには、警戒性の高い警戒避難体制の確立が重要であるため、体制整備の主体である市を支援するなど、ソフト対策も進めていきます。
				最終		537								

※再評価実施事業は「前回り」とし、再評価時の欄を記載する。それ以外は「当初」とし、当初計画時の欄を記載する。

- 1 事業名、番号、箇所名、市町名は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り簡潔書きとってください。
- 3 採択年度、完了年度は、英字半角大文字、数字半角大文字としてください。
- 4 O.Oの欄は、再評価実施済み場合は当初として当初計画時の内容を、再評価実施済みでない場合は前回りとして前評価時の内容を記載してください。
- 5 総事業費は百万円単位とし、数字半角大文字とします。
- 6 事業の効果、事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化、事業を巡る社会経済情勢等の変化、県民の意見、今後の課題等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。
- 7 様式は、表計算ソフトのデジタル媒体としてください。

令和4年度三重県公共事業事後評価箇所一覽表

(単位:百万円)

事業名	箇所番号	市町村名	採択年度	完了年度 前回 最終	事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題	委員会意見概要	事業方針概要
海岸事業	508	桑名市	H19	H29 最終	<p>【事業の効果】 堤防前は、地震に伴う液状化により堤防が崩壊・沈下し、その状況で高波や高潮などの異常気象が来襲すると、家屋などに浸水被害が生じると共に、住民の生命に危険が及ぶ可能性がありました。堤防の耐震補強により、地震による堤防の崩壊・沈下が防止されました。これにより、高波や高潮などが堤内地に浸入することを防ぎ、家屋などの浸水被害を防止し、住民の安全が確保されました。</p> <p>【事業効果の評価】 B/C = 12.51</p>	<p>昭和59年から令和2年までの伊勢湾における化学的酸素要求量(COD)の濃度を確認しました。平成19年の事業開始以降、CODは増加傾向になく、事業による環境の変化はありません。</p>	<p>堤防背後の商業施設の年間入込客数は新型コロナウイルスの感染拡大前の令和元年まで三重県内の観光レクリエーション施設で最大の約1500万人前段で推移しており、桑名市長島町の世帯数も増加傾向です。</p> <p>桑名市では、自主防災訓練や防災学習を毎年実施しており、令和3年度は長島地区で自主防災訓練に327人が参加しました。また、桑名市長島町南部の伊草島地区では、一時的な津波避難施設として「津波避難設備テッキ(仮称)」の整備が進められています。</p>	<p>【アンケート調査の概要】 長島地区の住民および周辺地域の桑名市・木曾岬町の住民に対してアンケート調査を実施しました。紙媒体のアンケートには315部、周辺地域の住民を対象にしたWebアンケートは250部、合計565部の回答が集まりました。</p> <p>【アンケート結果】 ①長島地区の住民の事業の認知度:67% 安心感の向上:51% 事業の満足度:48%</p> <p>長島地区の住民からは高台の避難所の整備などの要望がありました。</p> <p>②周辺地域の住民の事業の認知度:21% 安心感の向上:64% 事業の満足度:50%</p>	<p>【アンケート結果等の懸念事項】 ・長島地区の住民から高台の避難所の整備が要望された。 ・周辺地域の住民から避難訓練や啓蒙活動の実施が要望された。 ・ネットロールや維持管理の内容について住民に紹介する必要がある。</p> <p>【対応事項】 ・津波発生時の早急な避難の必要性について引き続き説明していく。 ・堤防等のハード対策に加え、避難訓練の実施などソフト対策を組み合わせた防災対策を実施していく。 ・施設の効果が多分に発揮できるよう適切な維持管理を実施していく。</p>	<p>事業の効果については評価結果の妥当性を認める。</p>	<p>施設の整備効果が十分に発揮されるよう、長寿命化計画に基づき、定期的な巡回・点検を実施し、適切な維持管理を行います。</p>
					<p>【全体事業概要】 堤防工 L=1,398m 波返し L=1,398m</p> <p>【事業目的】 長島地区海岸は、伊勢湾に面し、三重県と愛知県との県境付近を流れる木曾川と揖斐川に挟まれた場所にあります。背後の桑名市長島町は、海抜ゼロメートル地帯が広がっており、また内閣府が指定した南海トラフ地震防災対策推進地域となっています。</p> <p>当海岸の海岸保全施設は、耐震性能調査の結果、地震により液状化の危険性が高い地盤であることが判明したため、地震で堤防が崩壊・沈下した場合、その後の津波・高波・高潮により背後地のナガシマリゾートや住宅等に甚大な浸水被害が想定されました。</p> <p>そのため、地震による堤防の崩壊・沈下を防ぎ、その後の津波・高波・高潮から背後地の生命・財産を守ることを目的として、</p>						

※再評価実施事業は「前回」とし、再評価時の値を記載する。それ以外は「当初」とし、当初計画時の値を記載する。

記載注意

- 1 事業名、番号、箇所名、市町村名は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り簡潔書きとしてください。
- 3 採択年度、完了年度は、英字半角大文字、数字半角文字としてください。
- 4 ○○の欄は、再評価実施の場合には当初として当初計画時の内容を、再評価実施済みの場合は前回として前回評価時の内容を記載してください。
- 5 総事業費は百万円単位とし、数字半角文字とします。
- 6 事業の効果、事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化、事業を巡る社会経済情勢等の変化、県民の意見、今後の課題等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。
- 7 様式は、表計算ソフトのデジタル媒体としてください。

令和4年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表

(単位:百万円)

事業名	番 号	箇 所 名	市 町 名	採択年 度	完了年度 前回 最終	総事業費 前回 最終	事業の効果	事業の環境面への配 慮及び事業による環 境の変化	事業を巡る社会経済 情勢等の変化	県民の意見	今後の課題	委員会意見概要	事業方針概要	
海岸事業	509	磯津地区海岸	四日市市	H16	H29	1,048	<p>【事業の効果】 整備前は、高潮や高波等により海水が堤防を越えて浸水し、家屋などに被害が発生する可能性がありました。また、地震時には液状化により堤防が沈下し、浸水被害が生じる可能性がありました。離岸堤及び養浜の整備により、波の高さを抑えるとともに、砂浜の侵食を防ぐことが可能となりました。また、堤防の高上げと法面補強を行い、高潮や高波等による浸水の防止を図り、さらには、地震改良を行い、地震時の沈下を防ぐことで、浸水被害を防止しました。</p> <p>【事業効果の評価】 B/C=7.56</p>	平成12年度から令和2年度までの近隣の環境調査の結果について確認しました。近隣の観測点である、四日市鈴鹿(甲)St4のCOD(化学的酸素要求量)は、年によって基準値を前後しているものの、事業期間内及び事業完了後において、傾向に大きな変動はありません。よって、事業実施はなにと考えられます。	磯津地区の世帯数に大きな変化はなく、背後地には依然として家屋や事業所等が密集しています。	紙媒体アンケートでは約53%、Webアンケートでは約57%が安心感が増したと回答をいただきました。	<ul style="list-style-type: none"> 想定外と言われるような大地震や津波に対して不安であるといった意見があるため、ハード対策のみでは限界があり、ソフト対策が重要であることを伝えていきます。 砂浜への流木やプラスチックごみ等の漂着物や、堤防付近の草木が目立ち、利用・環境に関して改善してほしいとの声があるため、ごみ処理や除草などを行い、環境の美化に努めてまいります。 施設の維持管理をしっかりしてほしいとの意見があるため、施設の効果が十分に発揮されるための適切な維持管理を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業効果に対する意見 台風で波が堤防を越えなくなった。 音の砂浜が戻ってきて嬉しい。 地域住民が安心して生活していけるようになっています。 散歩しやすくなり満足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 改善・要望等に対する意見 大地震や津波に対して不安である。 砂浜部の雑草・大雨の後などの流木・ゴミ類の漂着が多く、これらの除草や除去をしてほしい。 整備した施設の維持管理をしっかりしてほしい。 	施設の整備効果が十分に発揮されるよう、長寿化計画に基づき、定期的な巡回、点検を実施し、適切な維持管理を行います。

※再評価実施事業は「前回」とし、再評価時の値を記載する。それ以外は「当初」とし、当初計画時の値を記載する。

※ 記載注意

- 1 事業名、番号、箇所名、市町名は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から趣旨のみを抜粋し、可能な限り簡潔書きとしてください。
- 3 採択年度、完了年度は、英字半角大文字、数字半角文字としてください。
- 4 ○○の欄は、再評価未実施の場合は当初として当初計画時の内容を、再評価実施済みの場合は前回として前回計画時の内容を記載してください。
- 5 総事業費は百万円単位とし、数字半角文字とします。
- 6 事業の効果、事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化、事業を巡る社会経済情勢等の変化、県民の意見、今後の課題等は、説明資料から趣旨のみを抜粋してください。
- 7 様式は、表計算ソフトのデジタル媒体としてください。

令和4年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

事業名	箇所名	市町村名	採択年度	完了年度 前回※4 最終	総事業費 前回※4 最終	事業の効果	事業の環境面への配慮 及び事業による環境の 変化	事業を巡る社会経済情 勢等の変化	県民の意見 (単位:百万円)	今後の課題	委員会意見概要	事業方針概要	
510 街路事業	近鉄名古屋線河原町駅付近(連続立体交差)	四日市市	H18	H29	10,565	<ul style="list-style-type: none"> ■費用便益費 B/C=1.4(前回1.5) ■その他の効果 ・近隣の公園が防災公園として整備され、河原町駅前には駅前広場が整備された。また鉄道の高架下には防災倉庫や駐輪場などが整備され、安心して暮らせるまちづくりが進んだ。 ・鉄道の高架化により往來がしやすくなり、東西地区の連携強化や新たな交流が図られている。 	連続立体交差事業に合わせ、駅前広場・公園整備が進み、緑ある憩いの場が創出された。	周辺エリアの人口及び世帯数が増加、河原町駅の鉄道乗降客数も増加しています(コロナ禍後)。今後も道路利用者が増加すると考えられ、更なる効果発現が期待される。	近鉄名古屋線河原町駅付近連続立体交差事業の意見として事業箇所周辺の2,043世帯へアンケートを実施した。住民アンケートは、1,008の回答が得られた。WEBアンケートにおいては、418名の方からご回答が得られた。地域住民の約79%道路利用者WEBアンケートでは約70%が満足と回答している。	<ul style="list-style-type: none"> ・踏切除去により車道の速度が上昇し、危険に感じる駅前ロータリーを用途せず路上で送迎の駐停車がない ・これからの周辺住民の利便性の向上を図るため、今後関係機関と協議を行い、対応を検討していく。 	今回、審査を行った結果、510案の事業の効果については評価結果の妥当性を認める。新たに発生した川原町駅付近の交通不安などの課題については、地元自治体、関係機関等と協議を行い、解決に努められた。	(都)川原町駅前線の整備後に交通量が激増、そのスピードが速くなったことによる道路幅狭断者への配慮が通る。また、当市周辺の交通は比較的少ないものの、周辺住民の利便性の向上を図るため、今後関係機関と協議を行い、対応を検討していく。	警察署に速度取り締まり強化の要望を道路管理者である四日市市とともに提出しました。また、新たに整備された駅前ロータリーを利用せず当該市道路肩に路上駐車により送迎している車が多く、歩行者が見えづらくて危ないとの課題については、改めて現地調査を行い、改めて現地調査をして、改めて現地調査を行なったところ、駐停車が禁止されている横断歩道が周りに一定数見受けられることから所管する四日市市警察署に協議を行ったところ、以前より所管する駐在所により注意喚起を行っているとの情報を得ましたので、引き続き注意喚起及び取り締まりの継続を道路管理者である四日市市とともに要望しました。
						<ul style="list-style-type: none"> ・物流会社において、踏切の除去により、効率的な配送エリアの設定が可能になった。線路を挟んだ東西を円滑に移動できるようにするため、宅配等の物流効率化、事業者の負担軽減につながっている。 	連続立体交差事業に合わせ、駅前広場・公園整備が進み、緑ある憩いの場が創出された。	周辺エリアの人口及び世帯数が増加、河原町駅の鉄道乗降客数も増加しています(コロナ禍後)。今後も道路利用者が増加すると考えられ、更なる効果発現が期待される。	近鉄名古屋線河原町駅付近連続立体交差事業の意見として事業箇所周辺の2,043世帯へアンケートを実施した。住民アンケートは、1,008の回答が得られた。WEBアンケートにおいては、418名の方からご回答が得られた。地域住民の約79%道路利用者WEBアンケートでは約70%が満足と回答している。	今回、審査を行った結果、510案の事業の効果については評価結果の妥当性を認める。新たに発生した川原町駅付近の交通不安などの課題については、地元自治体、関係機関等と協議を行い、解決に努められた。	今回、審査を行った結果、510案の事業の効果については評価結果の妥当性を認める。新たに発生した川原町駅付近の交通不安などの課題については、地元自治体、関係機関等と協議を行い、解決に努められた。	(都)川原町駅前線の整備後に交通量が激増、そのスピードが速くなったことによる道路幅狭断者への配慮が通る。また、当市周辺の交通は比較的少ないものの、周辺住民の利便性の向上を図るため、今後関係機関と協議を行い、対応を検討していく。	

※再評価実施事業は「前回」とし、再評価時の値を記載する。それ以外には「当初」とし、当初計画時の値を記載する。

記載注意

- 1 事業名、箇所名、市町村名は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り箇条書きとしてください。
- 3 採択年度、完了年度は、英字半角大文字、数字半角文字としてください。
- 4 ○○の欄は、再評価未実施の場合は当初として当初計画時の内容を、再評価実施済みの場合は前回として前回計画時の内容を記載してください。
- 5 総事業費は百万円単位とし、数字半角文字とします。
- 6 事業の効果、事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化、事業を巡る社会経済情勢等の変化、県民の意見、今後の課題等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。
- 7 様式は、表計算ソフトのテンプレートとしてください。